

第四十五回帝國議會
衆議院

刑事訴訟法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正十一年二月十四日午前十時五十五分開議
出席委員左ノ如シ

委員長 鶴澤 總明君
理事 熊谷 直太君
牧野 良三君 黑住 成章君
大道寺慶男君 齋藤鶴太郎君
永屋 茂君 齋藤 苗代君
高見 之通君 永井 作次君
横山金太郎君 作間 耕逸君
野村 嘉六君 山移 定政君
森下龜太郎君 横山勝太郎君

同月十三日委員前田米藏君辭任ニ付其ノ補闕トシテ牧野良三君ヲ又今日委員森田茂君辭任ニ付其ノ補闕トシテ横山勝太郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

司法次官 山内 確三郎君
司法省刑事局長 林 頼三郎君
司法省參事官 上埜 安太郎君
司法省參事官 秋山 高三郎君
司法書記官 皆川 治廣君
司法事務官 宮城 長五郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
刑事訴訟法案

○鶴澤委員長 是ヨリ引續イテ刑事訴訟法案ノ委員會ヲ開キマス——高見君……

○高見委員 質問スル前ニ一寸政府委員ニ聽イテ置キタイノハ、理由書デスガ、理由書ガ三十條マデシカナイガ、アトハ何時出來ルノデスカ

○林政府委員 アトハ今刷ッテ居リマスカラ、明朝マデニ出來マス

○高見委員 ソレデハ私ハ質問ヲ數點ヤッテ、アトデ又理由書ヲ拜見シテ、最後ニ一二點伺フカモ知レマセ——昨日カラ三四點質問致シマシタノハ、皆私ハ此人權ノ蹂躪ト云ヤウナ聲ガ非常ニ喧マシイカラ、人權ト云フコトヲ土臺ニシテ、人權ヲ擁護スル、人權ヲ尊重スルト云フヤウナ事デ、専ラ私ハ質問シテ居ルノデアリマス、後マデ數點ノ質問モ、大體ガ其例トシテ斯ウ云フ條文ガアルガ、是ハドウダト云フコトヲ聽キタイ意思デ、私ハ質問シテ居ルノデアリマス

カラ、政府委員モ左様ニ御諒承ヲ願ヒタイ、今度ハ三百六十二條デス、此三百六十二條ハ現行法ノ三百三條ガ之ニ改正サレタモノト思ヒマス、サウシテ此法案ハ、昨年既ニ改正案ガ出テ居ラサウシテ非常ニ政府委員、其他法曹社會トノ間ニ、種々輻輳シタ——複雜ナ議論ヲ生ジタノデアリマス、ソレニ付テハ一點ダケ確メテ置キタイノハ、三百六十二條ノ第一項ノ「理由ヲ説明シ」ト云フノガ現行法ニ「明示シ」トアル、現行法ニ「明示シ」ト書イテアリマスガ、是ハ「明示シ」ノ方ガ宜イヤウニ感ジマスガ、何カ改正サレタ譯ガアルノデスカ

○林政府委員 「明示」ト云ヒマシテモ「説明」ト云ヒマシテモ、意味ニ於テハ別段變リハナイノデアリマス「説明」ノ方ガ却テ適當デアラウト云フノデ、文字ヲ改メタダケニ過ギヌノデアリマス

○高見委員 ソレカラ「法令ノ適用ヲ示スヘシ」トナッテ居ラテ、現行法ニハ「法令ノ適用ヲ示シ且理由ヲ附セ」ト云フコトニ二百三條ハナッテ居ル、今度ハ法令適用ニ關スル理由ヲ示サヌコトニナッテ居ルノデ、是ハ何カ特殊ノ理由ガアツテ出來タノデスカ

○林政府委員 是モ別段變リタ意味ハナイノデアリマス、事實ノ認定ヲ書キ、證據ノ説明ヲシ、法律ノ適用ヲスレバ、自ラ理由ハソレニ依テ明ニナル次第デアル、今日ノ實際ノ判決ニ於キマシテモ、法律ヲ適用シタ上ニ、其理由ヲ説明スルト云フコトハ、先ヅアリマセヌヤウナ次第デアリマス、要スルニ本案ノ趣意ハ判決ニ法律ノ適用ヲ明ニシテ、サウシテ判決ヲ受クル者ヲシテ、如何ナル理由デ斯ノ如キ判決ヲサレタカト云フコトヲ十分ニ知ラセルコトガ目的デアリマス

○高見委員 ソレカラ第二號、是ハ今度新ニ出來タ問題デアリマスガ、刑ノ加重減免ノ理由タル事實上ノ主張アルト云キハ「ト云フコトガアリマスガ、此事實上ノ主張アルト云フコトハ、辯護士ノ辯論ノ中ニ、事實上ノ主張アルト云フアルガソレヲ矢張事實上ノ主張ト見ルノカ、或ハ斯ウ云フ場合ニハ特ニ判斷ヲ下サナケレバナラヌカ、特ニサウ云フ場合ハ事實上ノ主張アルト云フコトニハ、特別ニ書類デモ提出サシテ、特ニ是ガ上告事件ニ關係シテ來ルカラ、主張アルト云フコトニ付テ、何等カ特別ナ方法ヲ講ゼラレノデスカ、辯護士ガ長イ辯論ヲヤッテ居ル中ニ、假ニ是ガ有罪ト致シテモ、是レ々々是レ々々ノ事情ニ依ッテ、執行猶豫ノ恩典ニ預ラシタラドウカト云フヤウナ議論ガ出ルト、ソコ

デ一々何々辯護士ガ斯様ナ議論ヲシタガ、是ハ斯ウ云フ譯デ判斷スルト云フノデ、辯論ヲ非常ニ長ク聽イテ居テオヤリニナルノデアリマスガ、何カ茲ニ特別ノ方法ヲ講ゼラレルノデアリマスガ

○林政府委員 事實上ノ主張ニ付テハ、別ニ何等ノ形式ヲ定メテ居リマセヌ、從テ辯論ノ中ニソレヲ論ゼラレテモ、矢張判決ニ於テ判斷ヲ示ス必要ガアル趣意デアリマス

○高見委員 ソコデ此條文ニ關聯シテ最後ニ承リタイノハ、次ノ三百六十三條デス、三百六十三條ヲ見ルト云フト「區裁判所ニ於テ懲役若クハ禁錮一年以下ノ刑ノ言渡又ハ適用ヲ示スヲ以テ足ル」ト書イテアルガ「足ル」ト云フノハドウ云フ意味デスカ、私ハ是コソ國民ヲ侮辱シタ言葉デナイカト思フ、足ルト云フノハ懲役一年以下デアラウガ、罰金十圓デアラウガ、國民ハ皆同ジ事デス、ソレ故ニ罪トナルベキ事實證據及法令ノ適用ヲ示スベシナラ示スベシデ宜イ、示スヲ以テ足ルトハ、一體ドウ云フ意味デスウ云フコトヲ書イタノデアリマスガ

○林政府委員 三百六十三條ハ、三百六十二條ヲ受ケテ規定シタノデアリマスカラ、三百六十二條ニハ詳細シイ事ヲ書ケト、斯ウ云フ原則ガ茲ニ闡明サレテ居ル、ソコデ三百六十三條ニ參リマシテ、區裁判所デ比較的輕イ處分アル場合ニハ、固ヨリ鄭重ニスルコトヲ欲スル、併ナガラ是ダケノ事ヲ書ケバ、ソレデ法律上ノ要件ダケハ先ヅ充タセルコトニナル、是ダケノ意味デアリマス

○高見委員 ソレデハモウ少シ此問題ニ付テ、モウ一步進ンデ根本ニ付テ聞キタイ、元來此現行法ノ二百三條ノ規定ハ、政府ノ方デ非常ニ御贊成ニナッタリ、又之ニ對スル改正案ト云フモノハ、色々ノ方法ニ依ッテ講ゼラレタ時ニ、三百六十二條ニ該ル所ノ罪トナルベキ事實ダケヲ舉ゲテ、サウシテ其理由ヲ説明スレバ宜シイ、斯ウ云フ風ニ政府ノ方デ御考ヘニナツタ、其事實ニ對シテ、其證據ヲ列舉スル必要ハ無イ、何故證據ヲ列舉スル必要ガ無イカト云ヘバ、今日ノ裁判事件ハ、非常ニ複雑エテ來タカラシテ、斯ウ云フモノヲ並テ置ケバ、上告事件ガ多クナツテ、サウシテ裁判官ノ能率ニ關スル、事件ノ善惡ハ見ニ角トシテ、裁判官ガ證據ヲ並ベルト云フコトハ堪マラナイ、斯ウ云フヤウニ御考ヘニナツテ、サウシテ刑事訴訟法ノ改正ニ對スル色々ノ御考ガアツタラシイ、又今ノ刑事局長ハ初メデアリマスアレドモ、豊島サ

ノ如キハ、非常ニ御熱心デアツタシ、又昨年政府委員ノド
ナタモ、サウ云フ御議論デアツタ、今度ノ三百六十三條ヲ斯
ウ云フ風ニシテ、適用ヲ示スヲ以テ足ルト云フノハ、要スル
ニ裁判所ガ事件ガ多クテ、裁判官ガ其能率ヲ害スル、頭ヲ害
スル、斯ウ云フ具合ニシテ、唯證據ダケヲ竝ベテ、ソレデ宜
シイ、所謂事實トナルベキ理由ノ證據ヲ竝ベテモ宜シイ
ト云フコトカラ御考ヘニナッテ——ザツクバランニ何所ノ法
律デモ「之ヲ以テ足ル」ト云フコトヲ書クト云フコトハ、殆
ド何處ヘ行ツテモタシト無イ、是ハ即チ事ノ始リハ、事件ノ
大キイ小キイト云フヨリモ、寧ろ區裁判所ニ非常ニ事件ガ
多イカラ、裁判官ノ能率問題カラ御ヤリニナツタノデハナ
イカ、其動機ヲ一ツ承リタイ

○林政府委員 要スルニ判決ハ鄭重ノ上ニモ鄭重ニシ、出
來ルダケ各方面ノ關係者ガ、満足ノ出來ルヤウニ詳密ニ書
クコトハ理想デアリマスケレドモ、併ナガラ總テ刑事訴訟
ノ手續ハ、事件ノ大小輕重ニ依ツテ多少ノ差別ヲ設ケマシ
テ、或モノハ非常ニ鄭重ナ手續ヲヤリ、或モノハ簡易ナ手
續ヲ以テ満足スル、斯ウ云フコトハ、獨リ判決ノミデハナ
イ、是ハドウモ訴訟手續トシテハ、已ムヲ得ナイ事デアラウ
思ヒマス、ソコデ區裁判所ニ於テ殊ニ輕イ處分ヲ言渡ス場
合ニ於テ——犯罪ノ成立ヲ阻却スベキ原因デアルトカ、刑
ノ過重減免ノ原因デアルトカト云フヤウナ事ニ付テ、當人
カラナリ、其辯護人カラナリ主張ガアルト、其理由ノナイ場
合ニ於テモ、一々之ヲ説明スルコト云フコトハ、隨分煩雜ナ
事デアリマス、今日ノ事件ノ數、職員ノ數ト云フヤウナ方面
カラ見マシテモ、非常ニ負擔ノ重イ事ニナルノデアリマス、
サウ云フ次第デアリマスカラ、比較的輕微ナル事件ニ付テ、
原則ヨリハ幾分簡易ナル方法ヲ執ルト、斯ウ云フ趣意ニ
外ナラヌノデアリマス

○高見委員 御趣意ハ分リマシタケレドモ、併シ私ハ思フ
ニ、成程三百六十二條ニ依ツテ、前ヨリモ一層複雑ナ手續ヲ
御執リニナルヤウナ形モアリマセウケレドモ、懲役若クハ
禁錮一年以下ノ刑ト云フコトハ鄭重ニサレテ居ル、懲役一
年以下ノ刑ト云フモノコソ、所謂今日ノ國民ガ罰ヲ受ケテ
耻ヅルト云フ良心ニ抑ヘラレル所ハ茲ニアル、其故ニ斯ウ
云フ大切ナ場合ニ於テ、矢張鄭重ニサレル必要ガアルト思
フ、然ルニ單ニ證據ダケヲ列舉スルト云フヤウナコトデ
テ、果シテ此法案カ人權ヲ擁護シ、人權ヲ尊重シテ、サウシ
テ何所迄モ新刑法——刑事訴訟法ト云フモノヲ、世界ノ大勢
ニ順應シテ、人權ヲ尊重シタト云フコトヲ、法案トシテ見ル
コトガ出來ルノデスカ、或ハ人權ヲ尊重セルモノト御考ヘ
ニナツテ居ルノデアリマス、私ハサウハ考ヘラレヌノデ
アリマス、一般國民モ寧ろ却テ此ノ如キ法案ハ、今ノ現行法

ヨリモ、却テ其裁判官ハ徒ラニ能率ヲ安タスルヤウナ——
下ダルヤウナ、手輕ニヤルヤウナ方法ヲ講ジテ判決ヲ所謂
尊重ニスルト云フコトヲ簡略ニスルコトデハ、國民ハ満足
シナイト思ヒマスガ、一體國民ハ満足スルト御考ヘニナル
カドウデアアルカ

○林政府委員 此案デ適當デアルト考ヘテ居リマス

○高見委員 是ハ議論デアリマスガ、尙ホ一ツ念ヲ押シテ
置キタイノハ、三百六十三條ノ「證據ヲ示スヲ以テ足ル」今
迄ハ現行法ノ二百三條ノ「證據ニ依リテ之ヲ認メタル理由ヲ
説明ス」ト斯ウ書ケバ、何某ハ例ヘバドウ云フ犯罪ヲ犯シタ
ト云フ事實ヲ書イテ、ソレニ對シテ甲某ノ證言ニ依レバト、
其證言ノ中カラ抽出シテ、ズツト竝ベテ——乙某ノ證據ヲ摘
出シテ、事實ニ證據ガ的確ニ當嵌マルト云フコトデアリマ
スガ、今度ノ新シイ言葉ハ、證據ヲ示スヲ以テ足ルト云フコ
トハ、何々事實ヲ書イテ、サウシテ右ノ事實ハ、例ヘバ甲某、
乙某、丙某ノ證言ニ依ツテ明カナリト、斯ウ云フ工合ニシテ、
簡單明瞭ハ、誰デモ宜イ證人ノ證言ニ依ツテ明カナリ、斯ウ
云フヤウニ御書キニナルト解釋シテ宜イノデスカ、又更ニ
進ンデ、斯ウハ文章ニ書イテアルケレドモ、矢張實際ニ於テ
ハ解釋問題デアツテ、證據ト云フモノヲ舉ゲル以上ハ、矢張
事實ニ適合シタ所ノ、從來ノヤウナ證據ヲ竝ベナケレバ
イケナイト、斯ウ云フヤウニ解釋シテ宜イノデスカ

○林政府委員 三百六十三條ノ「足ルト云フ言葉ガ、大分
問題ノヤウデアリマスガ、是ハ三百六十二條ヲ受ケテ來タ
條文デアアルカラ、斯ウ云フ文字ガ適當デアルト認メテ書イ
タ次第デアリマス、足ルト云フ文字ニ特別ノ意味ガアル
譯デハナイ、法案ノ精神ハ、成タケ詳細ニ説明スルコトヲ望
ンデ居ルト云フコトハ、疑ナイ次第デアリマス

○高見委員 私人質問ガマダ政府委員ニ分ラナイヤウニ思
フ、三百六十三條ニ證據ト云フ文字ガアル、此解釋ハ今迄ノ
現行法ノ二百三條ノ「證據ニ依リテ之ヲ認メタル理由ヲ明
示シテ、斯ウ書イテアレバ、其事實ヲ舉ゲテ、之ニ對スル證
據トシテ、例ヘバ甲某ノ證言ノ中何々ト、斯様ニ云フ、乙某
ノ證言ノ中何々ト云フコトヲ抽出シテ、ソレデ事實ト理
由ノ中ノ——證據ノ中ノ何ノ某ト云フ名前ヲ漠然ト舉ゲ
テ、甲某ノ證言ノ中カラ抽出シテ出ス、ソレガ能率ノ上ニド
ウカト云フモノ一ツノ議論デアアル、今度ノ新シキ三百六
十三條ニ設ケラレマシタ證據ト云フ文字ハ、其所迄深切ニ出
來テ居ルモノカ、斯様ニ書イテアルケレドモ、矢張多少簡易
ニスルト云フヤウナコトハ宜シイガ、尙モ證人ナラ證人ノ言
葉ヲ一ツデモ摘ヘテ、何ノ某ノ證人ノ證言ニ依ツテト書カズ
シテ、其證人ノ中、更ニ斯様々デアルト云フ事實ニ適合シ
タヤウナ證據ヲ竝ベナクテハ、證據ニナラナイノデアアルカ

ドウカト私ハ聞クノデアアル、唯五ツ六ツヲ竝ベルノヲ、一ツ
カ二ツノ證據ノ簡易ナモノニスルト云フコトデ、證據トシ
タ以上ハ、單純ニ甲某、乙某ノ證人ニ依ツテ、乙某ノ證言ノ中
ニ斯様々デアルト云フ風ニ、從來ノ判決ノヤウニ書クト
云フコトヲ要求サレタ意味デアアルカドウカト云フ事ヲ聞ク
ノデアアル、私ノ言フ質問ハ

○林政府委員 成タケ詳細ニ書クコトガ法律ノ要求スル所
ノ理想デアアル

○高見委員 併シ此法文ヲ普通一般ニ解釋シテ居ル人ハ、
證據ヲ示スヲ以テ足ルト云フ時ニハ、ドウカト言ヘバ、何
某ハ人ヲ殺シタ、何ノ某ハドウ云フ犯罪行為ヲ爲シテ役
一年ニ處セラレタ、此事實ハ甲某ノ證言ニ依ツテ、乙某ノ證
言ニ依ツテ明デアルト、斯ク書クノデアアル、ソレガ非常ニ空
判官ノ手數ヲ省ケケレドモ、事實ハ事件トシテハ非常ニ空
々漢々タルモノデアツテ、唯何ノ某ノ證言ニ依ツテ、其證言ノ
内容ヲ調ベテ見ルト、唯何ノ某ノ證言ニ依ツテ明ナリト、何
モ證據ノ一ツヲ竝ベレバ、宜シイト、斯様ニ解釋スルカラ、此
三百六十三條ト云フモノハ、洵ニ宜シクナイ條文デアリマ
ス、斯様ニ解釋シテ居ルノデアアルヤルケレドモ、今中シタヤウ
ナ見解ノ相違ガアルテハ大變ダカラ、政府ノ御考ニ於テハ、
此證據ト云フ文字ハ、矢張三百六十三條ニ在ル所謂現行刑
事訴訟法ノ二百三條ノ證據ノ舉ゲ方ト同ジコトニシテ遺ル
ト云フ解釋ノ下ニ御考ヘニナツタノデアアルカ、又唯單ニ何
某ノ證言ニ依ツテ明ナリト云フ、所謂證據ノ舉ゲ方ヲ某ノ證
言ニ明ナリ、其證人ノ證言ニ依レバ、何ントカ書カナイデ、某
ノ證言ニ依ツテ明ナリト簡單明瞭ナ證據ヲ宜シイト云フヤ
ウナ、普通一般ノ解釋ヲ御採リニナツテ、此三百六十三條ノ
文字ガ出來タモノデアアルカト云フコトヲ具體的ニ説明ヲ願
ヒタイ

○林政府委員 判決ノ證據ノ説明ノ仕方ニ付テハ、私ハ現
行法ノ解釋トシテ、現在ノ裁判所ガヤツテ居ルコトハ、甚ダ
不満足デアアル、唯證據ノ内容ヲ羅列シテ、判決ニ現ハシタ所
ガ、讀ンデ見テ十分事實トノ關係ハ分ラヌ、將來ニ於テハ、
サウ云フ事實デナシニ證據說明ニ依ツテ、讀ム者ヲシテ、如何
ナル證據カラ斯ノ如キ事實ガ認定サレタト云フコトヲ諒解
セシメラレルヤウニシナケレバナラヌト思フ、ソレデア
ルカラ、現行ノ慣例ノヤウニ證據ノ内容ヲ舉ゲタラ宜シイ
ト云フコト、サウ云フヤウナコトハ、將來ニ於テハシタクナイ
ト考ヘテ居ル、併ナガラ事件ノ大小輕重ニ依リマシテ、例ヘ
バ簡單ナ竊盜事件ト云フヤウナ場合ニ、被告ノ自白ト被害
者ノ證言ニ依ツテ事實明白ナリト、斯ウ云フ風ニ書キマシ
テモ、三百六十三條ニ違背ハシナイト考ヘル、要スルニ事件

ノ大小輕重ニ依ッテ、其局ニ當ルモノガ適當ニ證據ヲ舉ゲテ説明シナケレバナラヌ、是ハ御承知ノ通り外國ノ立法ニ於テモ、證據ノ説明ヲセヨナドト云フ事ガ、法文ニ舉テ居ナインノガ大方アル、事實ヲ認定シテ、法律ヲ適用セヨト云フダケノ立法ガアル、所ガサウ云フ立法ノ下ニドシテ事ガ行ハレテ居ルヤト云フト、重大ナ罪ハ詳細ニ其説明ガシテアル、簡單ナ事件ニハ、其説明ガ無イヤウナリ方ニナッテ居ル、是ハドウモ事件ノ大小輕重ガアリマスカラシテ、ソレニ拘ラズ畫一的ニヤルト云フコトハ、ドウカト思フ、矢張重大ナル事件デ、利害關係ノ大キナモノハ、鄭重ニ説明センケレバナラヌ、簡單明瞭ナモノハ、簡單ニ記シテ置クト云フ事ガ、實際ニ適當シテ居ルト思フ

○高見委員 サウシマス、諄イヤウデスガ、御聞キシテ置カナケレバナラヌノハ、只今ノ御説明ノ中ニ在ル如ク、極ク簡單ナ窃盜事件ノ如キハ、重大ナ事件ノヤウナリ口デシナイデモ、右ノ窃盜ノ事件ハ、簡單ナ事件デアアルカラ、斯ウ云フ簡單ナ事件ハ、何ノ某ノ證言ニ依ッテ明ナリト、斯ウ書イデモ法律ノ違背デナイト、斯様ニ解釋サレテ、三百六十二條ガ出來テ居ルト思フテ宜シイデスカ、モウ一遍念ヲ押シテ置キマス

○林政府委員 何々ノ證言ニ依ッテ明白ナリト書イタ場合ニ其證言ガ果シテ認定シテ事實ニ適合シテ居ルナレバ、法律ノ要求ダケハ滿タシタコトニナリマス

○高見委員 分リマシタ、ソレカラ六十一條ノ一はハ六十一條ニ公判調書ノ場合ニ於テハ、五十六條ノ所謂調書ハ裁判所書記ヲシテ之ヲ供述者ニ讀聞カサシメ、又ハ供述者ヲシテ之ヲ閱覽セシメルトシテアルガ、是ハ必要デアアルト考ヘマス、ソレ故ニ唯供述者ノ請求アル時ハ、裁判所書記ヲシテ讀マシテヤラセル、是ハ餘程進ンダ一ツノ法律デアアラウト思ヒマスガ、唯斯ウ云フコトヲ願フテ置キタイガ、ドウカト思ヒマス、供述者ダケガ請求スレバ、其裁判所書記ヲシテ公判調書ヲ讀マセル、所ガ實際ニ於テ供述者ハ、事實ニ於テ裁判所ナドヘ中々出タ者ガ少ナイ、ソレダカラ請求ヲシテ、裁判所書記ヲシテ其部分ヲ讀ンデ貰ヒタイト云フヤウナコトヲ請求スルモノハ少ナイ、其所デ辯護人ナリ、側ニ附イテ居ル者ガ、アレヲ讀ンデ貰フタ宜カラウ、或ハ斯ウ言フタラバ宜カラウト云フ風ニ、詰リ側ニ居ッテ注意ヲシタラバ宜イケレドモ、如何ニモ人ノ仕事ニ干渉ガマシクナッテ惡イ、故ニ辯護士ヨリモ請求アル時ニハ、裁判所ハ供述者ニ其部分ヲ讀聞カセルト云フコトガ必要ナ事デアアルト思ヒマス、先日速記ノ事デ議論ヲ致シマシタガ、殊ニ此公判調書ト云フモノハ、豫審調書ヤ其他ノ調書ト異ニシテ、實際ニ於テ、原則トシテ請求アルニアラザレバ、一々讀ンデ増減變更ヲ

求メル性質ノモノデアッテ、而モソレガ控訴ヘ行ッテ非常ニ重要ナ關係ヲ持ツモノデアアル、ソレ故ニ供述者ノ請求ト云フコトノ途ヲ開イテアルト云フコトハ宜イケレドモ、供述者ガ之ヲ請求スルト云フコトダケデハ、非常ニ困難ヲ感ズルダラウト思フ、故ニ供述者ノ外ニ、訴訟ヲ擔當シテ居ル辯護士ノ請求アル時ニハ、其必要ナ部分ハ讀聞カシテ、サウシテ増減變更ノ途ヲ開ク、斯ウ云フ風ニスル方ガ私ハ速記トノ關係及公判上必要デアアルト、斯様ニ考ヘマス、政府デハドウ考ヘルヤ

○林政府委員 公判始末書ハ、法廷ニ於テ訴訟關係人列席ノ上ニ於テナサレタ其供述ヲ記載スルモノデアリマスカラシテ、若シ其公判始末書ニ開達ガアレバ、開達デアッタト云フ事ガ分ルベキ關係ニ在ルノデアリマス、ソコデ現行法デハ公判始末書ノ記載事項ヲ供述者ニ讀聞カセルト云フコトハ、絕對ニナイノデアリマス、併シ本案デハ特ニ第二項ヲ加ヘマシテ、万一間達アル場合ニ、爭ナカラシムルト云フ趣旨ヲ明ニシタノデ、辯護人ノ請求ノアツタ時ニモ、サウ云フコトニシタラドウカト云フコトハ、一ノ御考デアアルト思ヒマスガ、本案デハ、供述者ノ請求ガアレバ、其時ニ一部ヲ讀ミ聞カセル、ソレデ宜カラウト云フコトデ出來タノデアリマス

○高見委員 辯護士ノ請求ガアツタ場合ハ、ヤラセル方ガ宜イト思ヒマスガ、ソレ以上ノ議論ニナリマスカラ止シマス、次ハ第六十二條デアリマス、六十二條ニハ「公判調書ハ公判開廷ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ整理セシムル」とアル、是ハ新ナ法律デ、洵ニ私ハ宜イ規則ヲ設ケラレタモノト思フ、所ガ四百十二條ノ上告ノ理由ノ方ヲ見ルト云フコトハ、法律違反デハナイヤウニモ見エル、又四百十三條ノ「法令ニ違反シタルコトアリト雖判決ニ影響ヲ及ボサ、ルコト明白ナルトキハ之ヲ上告ノ理由ト爲スコトヲ得ス」とアリマスガ、公判開廷ノ日ヨリ五日以内ト云フコトハ宜イコトデアアルガ、五日以内ニ整理ガサレナカッタ場合ニハ、何等カ之ニ對スル制裁ノ規定ガアリマスカ

○林政府委員 法律デ五日以内ニ整理スベキコトヲ命ジタノデスカラ、此規定ニ則ッテ職務ヲ執ラナケレバ、職務上ノ制裁ヲ受ケルノハ無論デアアル、併ナガラ此案ニ於テハ、ソレヲ理由トシテ上告スルコトハ認メラレテ居ラス、要スルニ訴訟法ノ手續ノ中デ、法令ニ違反シテモ、必ず上告ガ出來ルト云フ立デ方ニハナッテ居リマセヌ、上告ノ理由ニ付テハ、一々列舉主義ヲ執ッテ居リマス

○高見委員 ソレカラ百十二條「糧食ハ其ノ授受ヲ禁シ又ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス」と云フノハ、今度新ニ設ケラレ

タ簡條デ、糧食ダケノ授受差押ヘルコトヲ得サルノミナラズ、尙ホ私ハ之ニ衣服ト云フモノヲ入レテ貰フコトハ出來マセスカ、一體監獄署ノ被告人ニ對スル取扱ト云フモノハ、折角刑事訴訟法等ニ於テ身體ノ自由ヲ保護スルトカ、或ハ人權ヲ尊重スルト云フ事ニシテモ、逃亡ヲ防ギ、罪證ノ湮滅ヲ防グト云フコトノ爲ニ、拘束ナリ、苦シミヲ與ヘル精神デナイト云フコトハ、最近ノ刑事訴訟ノ立法例ニ準據サレタコトハ宜イコトデアアルガ、併シ現在ノ監獄ノ手續ニ於テハ、非常ニ憚ラス、何レニシテモ、待遇ノ途ガ非常ニ惡イ、從來ハ刑事被告人ノ待遇ト云フモノハ、一旦被告人トナッタ以上ハ、既決者ト同様ニ見テ居ルト云フノガ從來ノヤリ方デアアル、故ニ此法律ガ出來テ、人權ヲ尊重スルト云フ大方針ヲ執ラレルト同時ニ、從來ノ裁判所デ手錠ヲ嵌メルトカ、妙ナ編笠ヲ冠ブラセルト云フヤウナコトハ、餘程改良サレナクテハナラヌト考ヘテ居ル、今迄デモ刑事被告人ガ入監スルト、糧食ノ如キモノデモ、引クリ返シテ見ルトカ、或ハ證據湮滅ノ虞ガアルカラ入レラレシメト云フコトガアツタノデアリマス、今度糧食ダケヲ御許シニナッタト云フコトハ宜イガ、併シ現在ノ被告人ニ於テ非常ニ苦痛ヲ感ジテ居ルノハ、食物ヨリハ衣服デアアルト思フ、差入辨當ガアリマシテ、西洋料理デモ、牛乳デモ、何デモ相當ニ食ヘルケレドモ、衣服ト云フモノニ對シテハ、非常ニ制限ヲ置イテアル、サウシテ毛布一枚ヨリ許サセト云フヤウナコトデ、寒中ニ這入ッタ者ガ、非常ニ寒ムガツタ、病氣ニナッタリ、舊イ病氣ヲ引出シタリシテ、甚ダ可哀相デアリマス、故ニ此際ニ於テ、糧食ノ外ニ衣服ヲ十分差入レルコトヲ許ス途ヲ開キ、サウシテ授受ヲ禁シ、差押フルコトヲ得スト云フモノ、中ニ入レル途ヲ拵ヘル御考ハナイノデアリマスカ

○林政府委員 未決勾留中ノ被告人ニ對シテ衣服寢具等ヲ差入レルコトハ、許サレテ居リマス、第六十二條ノ場合ハ、罪證湮滅、逃亡ノ虞ガアルト云フ特殊ノ場合デ、サウ云フ虞ヲ防グ爲ニ、夜具トカ衣服ト云フモノ、差入ヲ禁ズルト云フコトハ、實際上必要ナルコトデアリマス、無論實際ニ必要ナル場合ニヤルノデ、蓋リニヤルノデハナイ、但書ハ如何ナル事情ガアツテモ、糧食ダケハ授受ヲ禁シ又ハ差押フルコトガ出來ナイト云フコトニナッタノデアリマス、詰リ糧食ハ生命ノ糧デアアルカラ、ドンナ事情ガアツテモ是ダケハ許ス、其他ノ物ニ付テハ、之ヲ爲スニ依ッテ、若シ證據湮滅、逃亡ノ虞ガアル、サウ云フ場合ニハ禁ズルト云フコトハ已ムヲ得スノデ、是ハ遺憾ナガラ御同意致シ難イ點デアリマス

○高見委員 次ニ二百三十五條ノ「被告人ニ對シテハ丁寧深切ヲ旨トシ其ノ利益ト爲ルヘキ事實ヲ陳述スル機會ヲ與フヘシ」とアリマスガ、此丁寧深切ト云フ事ハ、一體ドウ云フ意

味カ——丁寧深切ヲ旨トスルハ一體ドウ云フ意味デア
カ、被告人ノ現在ノ訊問ニ付キマシテハ、今日ノ檢察判事ノ
取調ト云フモノハ、實際ニ於テ丁寧深切ヲ缺イテ居ルモノ
ガアル、斯様ニ御考ヘニナッテ此法文ガ出タルノデアアルカ、所
謂先程ノ御話ノ如ク丁寧深切デアルト云フ所ノ大方針ヲ受
ケタモノデアアルカ否ヤト云フコトヲ一ツ聴イテ見タイノデ
アリマス、殊ニ屢々殆ト毎年裁判所ノ役人ノ被告人其他ヲ
取調セルニ對シテ、脅喝又ハ詐言ヲ用ウルコトヲ得ズト云
フ色ナ法文ノ單行法ガ屢々出ルノダガ、今回ハ現行法ニ
脅喝又ハ詐言ト云フヤウナ大綱ヲ御取リニナッタヤウニ見
ヘル、シテ見マスレバ丁寧深切ヲ旨トスルコトヲダケデ、總
テノ大綱ハ盡キテ居ルモノデ、是サヘアレバ、大體此大綱一
ツデ宜シト御考ヘニナッテ居ルノデアアルカ、尙ホ別ニ將來
何等カ單行法デモ御出シニナッテ、矢張檢察モ人ナリ役人モ
人ナリデアリマスカラ、或ハ此事件ヲ調ベルコトニ急ナル
餘リ、特ニ脅喝詐言ヲ用ウルコトナキヲ保セヌ、是等ニ對シ
シテ更ニ救済ノ途ヲ開ク御考デ、外ノ行政官廳等ニ御打合
セノ上デ御開キニナル御考デアリマス、此點ハ今日ノ役
人ノ取調ハ、丁寧深切ナリト考ヘルカ否ヤ、丁寧深切ナリト
考ヘルナラバ、特ニ其丁寧深切ニシナケレバナラヌト云フ
其文字ノ意味ハ、態度及精神共ニ言フノデアアルカ、今日ノ問
題ニナッテ居ル脅喝詐言ト云フ現行法九十四條ノ規定ヲ除
カレタノハ、別ノ方法ヲ講ジテ、或ハ刑法ヲ改正サル、カ、
或ハ單行法ヲ出シテオヤリニナルカ否ヤ、御考ガアルヤ伺
テ見タイと思ヒマス

○林政府委員 丁寧深切ト云フコトハドウ云フ意味カト云
フ御尋デアリマシタガ、是ハ此文字通りデ、別ニ説明スル必
ハ無イ、此法文ヲ設ケマシタノハ、必ズシモ今日ノヤリ方ガ
丁寧深切ヲ缺イテ居ルガ故ニ此規定ヲ設ケルト云フ趣意デ
出來タノデアリナイ、今日ノ取調モ丁寧深切ニ多ク行ハレテ
居ルト思ヒマスガ、併ナガラ此法案ニ於キマシテハ、他ノ場
合ニ同ジ精神デ規定ガ出來テ居リマスカラ、根本ノ原則ヲ
法文ノ上ニ明カニシテ、被告人ノ訊問ニ付テ根本ノ趣意ヲ
宣明シタノデアリマス、既ニ丁寧深切ヲ旨トスル以上ハ、脅
嚇詐言ヲ用ウベカラザルハ當然ノ事デ、消極的ニ書クヨリ
モ、積極的ニ精神ヲ現ハス方ガ宜イ、斯ウ云フ次第デ法文ガ
現ハレテ來タノデアリマシテ、此法文ニ依ッテ被告人ニ對ス
ル態度ヲ如何ニスルカト云フ事ガ十分明瞭デアリマス、ソ
レカラ此外ニ單行法デモ出スカト云フ御尋ガアリマシタ
ガ、是ハ只今ノ所デ、單行法ヲ出ス意思ハアリマセヌ、併シ
此法文ノ趣旨ガ徹底スルヤウニ、本法ヲ實施スル際ニハ、訓
令ヲ出ストカ、又ハ行政監督權ノ範圍ニ於テ、種々ノ手段ヲ
執ルコトアルヘキハ當然デアリマス

○高見委員 モウ三四點アリマスガ、差支アリマセヌカ
○高見委員 成ベク簡單ニ……
○高見委員 簡單ニシマス、同ジク人權ニ關スル事デアリ
マシテ、條文カラ見レバ百五十條ニ相當スルノデアアル、此間
轉若カラモ一寸御話ガアッタノデアリマスガ、大體今度ノ百
四十三條ノ中デモ、特ニ婦人ノ身體ノ搜索ト云フコトニ付
テハ、特別ニ新ナル一箇條ヲ御設ケニナッテ居ルガ、現行
法ナドノ精神ヲ見マスルト大體六十六條若クハ百五條等ニ
依ルト、豫審判事ガ斯ウ云フ身體搜索ト云フコトヲヤルヤ
ウニ、特ニ條項ヲ掲ゲデアリマスガ、今日ノ司法警察官ト云
フヤウナ者ニ斯ウ云フ搜索ヲ命ジタ、特ニ身體搜索——身
體ノ中ニ婦人ガ居ル、身體搜索ト云フコトヲ命ズルト云フ
コトハ、屢々聞クガ——新聞紙上ニ於テ色々ナ話ヲ聞クガ、
是等ハ一種ノ弊害ヲ生ズルコトガ無カラウカ、却テ人權ノ
上ニ於テ種々ニ誤解ヲ生ズルコトガ無カラウカト云フ
コトヲ憂フルノデアリマスガ、如何デス
○林政府委員 百五十條ヲ設ケテ趣意ハ、前回ニ轉若ノ御
尋ニ對シテ答ヘタ通りデアリマス、重ネテ申上ゲル必要ガ
無イト思ヒマス
○高見委員 モウ二點程——此二百五十五條ノ被疑者ヲ勾
留スルヤウナ規定ガ新ニ出來テ居リマスガ、未ダ起訴セヌ時
カラ、被疑者ヲ勾留スル事ニナレバ同ジ意味ニ於キマシテ、
勾留ガ出來ルノデアリマスガ、其勾留ノ規定ヲ適用スルニ
ハ、矢張普通ノ勾留ノ規定ノ一箇月以內ヲ以テヤル、實際勾
留ノ規定トシテ被疑者ヲ勾留スルコトニナラウト思ヒマス
ガ一寸聽キタイ
○林政府委員 サウ云フ趣意ニナリマス
○高見委員 從來此裁判所ニ於キマシテ、公訴ヲ提起スル
以前ニ勾留ヲシタト云フコトハ、例ヘバ警察署アタリデ浮
浪罪ト云フコトデ勾留ヲシテ、事件ヲ調ベルコトガアリマ
スガ、サウ云フヤウナ例ガ非常ニアッテ必要ヲ感ジテオヤリ
ニナッタルデアリマス、被疑者ヲ勾留スルノハ、ドウ云フ
所カラ一體斯ウ云フヤウナ條文ヲ御掲ゲニナッタルデアリ
マスカ
○林政府委員 二百五十五條ハ單リ勾留ニ關スルモノデア
リマセヌ、要スルニ檢察ガ搜索ヲスルニ付テ、如何ナル手段
ヲ執ルコトガ出來ルカト云フコトガ、現行法ニハ規定ガア
リマセヌ、ソコデ本案ニ於テハ、檢察ノ搜索トシテ執ルベキ
法則ヲ明カニスルコトヲ必要ト認メマシテ、此條文ヲ設ケ
タ次第デアリマス、是ハ餘程重要ナル條文デアリマス、詰リ檢
事ガ搜索ヲスルニ當リマシテハ、色々證據ヲ調べ公訴提起
ノ準備ヲスルニ付テ、諸般ノ處置ガ必要ナル事ハ論ヲ
俟タヌ、所ガ原則トシテハ強制力ヲ用ルコトヲ許サヌ、併

ナガラ強制力ヲ全然用ナナイ爲ニ搜索ノ目的ヲ達セヌコト
ガ屢々アリマス、ソレナラバ檢察ニ強制力ノ行使ヲ或ル場
合ニ許シテ宜イカドウカ、是ハ餘程考ヘモノデアリマス、兎
ニ角檢察ハ一方ノ當事者トナルベキ者デアリマスカラ、強
制力ノ行使者トナルコトハ許サナイ、併ナガラ強制力ヲ用
ナケレバ、搜索ガ出來ヌコトガアリマスカラ、此場合ニ於
テハ、公平ノ保障ノアル判事ニ之ヲ請求スル、判事ガ相當ト
認メレバ、檢察ノ請求シタ處分ヲ行フ、斯ウ云フコトニナ
テ居リマス、一方ニ於テ搜索ノ目的ヲ達スル爲メニ必要デ
アリ、一方ニ於テ人權保障ノ爲メニ非常ニ必要デアアル、斯
ウ云フ趣意カラ二百五十五條ガ現ハレテ來テ居リマス、勾留
ニ於テモ、其他ノ證人訊問、或ハ搜索檢證等ニ於テモ、同様
ナ關係カラ來テ居ル次第デアリマス
○高見委員 ソンナ事ハ聽カズトモ分ッテ居ル、一體ソレハ
成程豫審判事ニソレ等ノ處分ヲ依頼スル手續ガアルカラ
ヤッデモ宜カラウト云フコトデアアルガ、決定ヲ頼ムノナラ
バ、豫審判事ハ事件ヲ自分ニ委託サレ、バ、其範圍ニ於テハ
ヤルノデアアルケレドモ、被疑者ヲ公訴ノ提起前ニ勾留スル
ヤウナ事ハ、人權ノ尊重ト言ヘマス、ソレヲモウ少シ念ヲ
入レテ御説明ヲ願ヒタイ、吾々ハ人權尊重ノ國民ノ聲ヲ貴
ムノデアリマスカラ、其御積リデ御答ヲ願ヒタイ、此法文ハ
矢張其聲ニ依ッテ產レタモノデアルト仰シタルガ、其御積リ
デ説明シテ戴カナイト、吾々ハ満足スルコトガ出來ナイ
○林政府委員 此法案ノ趣意ヲ説明シテ居ルノデアリ
マス、被疑者デアアルカラ、絕對ニ勾留シテハナラヌト云フコ
トハ、事情ニ適セヌト思フ、被疑者ヲ勾留スルコトハ、無論
重大ノ事デアリマスカラ、慎重ノ考慮ヲ經ナケレバナラヌ
コトハ論ヲ俟タイ、而シテ起訴スルコト云フコトモ、餘程慎
重ノ注意ヲ加ヘナケレバナラヌ、マダ搜索ガ十分ニ行局カ
ナイ内ニ、ドウモ檢察デハ搜索手續ノ段階ニ於テハ勾留ハ
出來ナイカラ、兎ニ角起訴ヲシヤウト云フ事ニナッテハ、ソ
レコソ大變デアリマス、例ヘバ檢察ガ搜索手續ヲシテ、餘
程嫌疑ガアルガ、併シマダ起訴スルカセヌカラ決スル程
度ニ達シナイ時ニ、其被疑者ガ外國ニデモ立ッテシマフト云
フヤウナ形迹ガアルトカ、或ハ盛ニ證據ノ湮滅ヲ圖ッテ居
ル形迹ガアルト云フヤウナ特殊ノ事情ノアル場合ニ、十分
ニ分ラナイノニ起訴シタ方ガ宜イカ、或ハサウ云フ場合ニ、
一時拘留シテ調べテ、起訴不起訴ヲ決スルガ宜イカト云フ
ト、後ノ方法ガ宜イト云フコトハ論ヲ俟タイ、此法案ノ趣
旨ハ蓋ニ勾留スルノデアリナイ、已ムヲ得ナケレバ斯ウ云フ
方法デ勾留スルコトガ出來ル、之ニ依ッテ人權保護ノ精神ニ
合フト云フ積リデアリマス、御諒解ヲ願ヒマス
○高見委員 告訴ヲ取下ゲルニハ、現行法五十五條デハ何

時デモ取下ゲルコトガ出来マセガ、今度二百六十七條ニ依
ルト「第二審ノ判決アル迄之ヲ取消スコトヲ得」トナッテ居
リマス、是ハ新聞紙事件トカ、名譽毀損事件ナドニ付テ言フ
ト、改正案ハ却テ人權ノ尊重ヲ害スルヤウナ傾ガアリハシ
ナイカト考ヘテ居リマスガ、如何デアリマスカ

○林政府委員 本案ニ於テハ告訴ハ第二審ノ判決アル迄ハ
取消スコトガ出来ル、第一審ノ判決以後ハイケナイト極メ
マシタ、是ニハ餘程論ガアリマシテ、既ニ檢事ガ起訴シタ後
ハ取下ッ許サナイト云フ論ガアリマシテ、第一審ノ判決ノ後ハ、取
下ッ許サナイト云フ論ガアリマシテ、色々攻究サレタ結果、
斯ノ如クナリマシタ、要スルニ一旦告訴シタ上デ、之ヲ取
下ゲシタガ宜イカト云フコトヲ考慮スルノハ、第二審ノ判
決前デ十分デアル、斯ウ云フ考カラ來テ居リマス

○高見委員 告訴人ヤ告發人ニ宣誓サセルト云フ規定ガ新
ニ出来タノデアリマスガ、之ニ對スル制裁デモ設ケル積リ
デアリマスカ、告訴人告發人ガ惡イ考ヲ以テヤツ場合ニハ
誣告罪ノ制裁ガアルケレドモ今日善意ノ告訴人告發人ニ宣
誓サセテ制裁デモアルヤウニ考ヘサセルト云フコトハ、
却テ人權尊重ノ上ニ於テ、保護スルニアラズシテ、短縮スル
ヤウナ傾ガ生ゼスカト思フガ、是ハドウデスカ

○林政府委員 サウ云フ處ハナイト信ジテ居リマス
○高見委員 サウスルト宣誓ヲシテ、其宣誓ニ背イタナラ
バ、何等カノ制裁ガアルノデスカ

○林政府委員 法律上ノ制裁ハアリマセヌ
○高見委員 ソレデハ宣誓ヲ破レバ、偽證罪トカ何トカ、將
來刑法デモ改正スル御考ガナイノデアルカ、サウシナケレ
バ、刑法第六十九條ノ證人ハ宣誓ヲシテト云フ所ニ非常
ニ力ガアル、檢事局デ偽證シテモ、宣誓前ニハ事件ニナラ
ナイ、宣誓ヲシタラ偽證罪ニナル、ソコニ宣誓ト云フモノニ非
常ニ意味モアリ、力モ持ツ、殊ニ今度ノ改正刑事訴訟法ヲ見
ルト、今迄ハ書記ガ宣誓ノ朗讀ヲシタケレドモ、今度ハ裁判
長ガ宣誓ノ朗讀ヲスルト書イテアル位ニ重キヲ置イテアル
ル、固ヨリ道德觀念カラ往ケバ、制裁ガナクモ間違ハアリ
マス、マイガ、宣誓シテモ何デモナイ、嘘ヲ吐イテモ何デモ宣
誓ハ形式ダケノモノデアルト解釋スルト、折角宣誓ヲ重ク
シタ趣旨ヲ結局沒却シテ、所謂善良ナル風俗ノ道德觀念
ヲ發揚スルニハ、制裁ガナイト、ドウシテモ具合ガ惡イト思
ヒマスガ、何等カ將來制裁ヲ設ケラル、御考ハナイノデア
リマスカ

○林政府委員 政府ハ刑法ノ一部改正スルノ必要ヲ認メマ
シテ、目下法制審議會ニ諮詢致シ、同會ニ於テ熱心調査中デ
アリマス、今御尋ノ事柄モ、同會ニ於ケル一ツノ研究事項ト
シテ現ハル、カモ知レマセヌガ、只今責任ヲ以テ制裁ノ法

規ヲ設ケルカドウカラ言明スル譯ニ參リマセヌ
○高見委員 分リマシタ、ソレカラ匿名申告トカ風説ニ對
シテハ、新ニ其出所ニ注意シ、虛實ヲ探索スルト云フ事ハ二
百七十九條ニアル、是ハ裁判所ハ如何ニ詳シクテモ、場合ニ
ヨルト、風説ニ依リ或ハ匿名申告ニ依テ、事件ノ發展スル事
ガ屢々アル、然ルニ本條ノ如キ法文ヲ置クテ、却テ無智ノ國
民ハ恐シクナッテ、容易ニ申告ガ出来ナクナル、容易ニ出来
ナイノハ當リ前デアリマセウガ、却テ犯罪發見ノ途ヲ塞ギ、
又國民ノ權利ニ一種ノ束縛ヲ加ヘルヤウニナリハシナイカ
ト思フガ、是ハドウ云フ所カラシテ特ニ此一箇條ヲ設ケテ、
サウシテ虛實ヲ調査スベシト云フヤウナ特殊ノ條文ヲ設ケ
ラレタノハ、何等ノ理由ニ依ルカト云フコトヲ承リタイ

○林政府委員 是ハ要スルニ檢事ニ對スル訓示規定デアリ
マシテ、一體犯罪ヲ官廳ニ申告スル場合ニ於テハ、自己ノ十
分ノ責任ヲ以テスルト云フコトガ當然デアリマス、隨テ
名前ヲ匿シテタルト云フコトハ、普通ノ場合ニ於テハ穩當
ヲ缺ク事ト思ヒマス、併ナガラ特別ノ事情ガアル場合ニ、名
前ヲ出セスト云フ事カラ、匿名ノ申告ヲスルコトモアル、又
或ハ風説デアルカラト云ッテ、檢事ハ搜查シナイト云フ譯ニ
ハ行カナイノデアリマス、併シナガラ往々ニシテ人ヲ害ス
ル爲ニ匿名デ申告シタリ、スルコトモアリ、或ハ風説ナント
云フモノハ、隨分根據ノ無イ事ガアリマスカラソレニ依
テ輕々ニ搜查ノ歩ヲ進メルト、隨分關係人ガ迷惑スル、ソレ
デアルカラ、サウ云フ場合ニハ特ニ注意シテ、輕々ニシナイ
ヤウニト、斯ウ云フ訓示ヲ與ヘタ趣意ニ外ナラヌノデアリ
マス

○高見委員 最後ニ伺ヒタイノハ、三百五十一條ノ「辯護人
數人アル場合ニ於テ被告ノ爲ニスル意見ノ陳述ハ重複シテ
之ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フコトヲ書イテアリマスガ、是ハ
裁判長ガ此權限ガアル爲ニ、君ノ議論ハ重複ダカラ止メタ
ラ宜カラウト云フ風ニヤラレルト、辯護ノ上ニ於テ非常ニ
影響スルモノト思フ、重大ナル事件ニナルト、或ハ重複スル
ヤウナ場合モアリマセウ、又道德上ノ方面カラ研究スル場
合モアリマセウガ、重複スルコトヲ得ズト云フ時ニ於テハ、
裁判長ハ之ヲ取締ルノニ、場合ニ依ッテハ辯論ヲ中止スル權
限ヲ認メタノデアルカ、單ニ成ベク今日ハ辯護士ノ數モ多
クナツタカラ、議論ヲスルノモ重複ヲ避ケテ呉レト云フダケ
ノ、一種ノ希望ノ、所謂趣意精神ヲ御發表ニナツタノデア
ルカ、重複スルコトヲ得ズト、斯ウ書イテアルガ故ニ、裁判長
ハ此議論ハ重複ナリト認メレバ、直ニ中止サセルト云フ規
定ヲ意味スルノデアルカ、ハッキリ其邊ヲ伺ヒタイ

○林政府委員 重複シテ之ヲ爲スコトヲ得ズト規定シマシ
テ、重複ノ辯論ハ禁ズル趣意デアリマス、併ナガラ別ニ之ニ

付テ制裁トシテノ特別ノ規定ハナイ、唯一般ノ裁判長ノ訴
訟指揮權、法廷警察權、之ニ依ッテ裁判官ガ相當ニ處理スル
ト云フコトハアルダラウト思フ、併シハ斯ウ云フ事ノミ
ナラズ、一般ノ場合ニ於テノ法則ガ之ニモ當嵌ルト云フコ
トニ過ギナイノデアリマス

○高見委員 私人質問ハ是デ終リマシタ、尙ホ早ク理由書
ヲ出シテ頂キタイト云フコトヲ委員長カラ言ッテ戴キタイ、
其場合ニ最後ニ私カラ一ツ理由書ニ依ッテ聽キタイ事モア
リマス

○山移委員 私が御尋シタイ事ハ、略式裁判ノ事デアリマ
ス、此略式裁判ニ付キマシテハ、確定シタ後ニ控訴ノ上告、再
審、非常上告、何等ノ方法モ講ズルコトガ出来ヌヤウニ見
マス、縱シ控訴上告ハ許サヌニシテモ、再審、非常上告ノ途
ヲ開クコトガ必要デアリナイカト考ヘマス、勿論區裁判所事
件デ、輕微ナル犯罪ト云フ考ガアルカモ知レマセヌケレド
モ、併シ選舉法ノ如キモノハ、公權ヲ剝奪セラレルヤウナ、
斯ウ云フヤウナ名譽ニ關スル事モ大分有ルヤウニ考ヘマ
ス、是等ハ今ノ上告、再審、控訴、非常上告等ヲ御許シニナル
御考ハゴザイマセヌカ

○林政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ、略式命令ハ確定シマス
ト云フ、確定判決ト同一ノ效力ヲ有スルト云フヤウニ、五
百三十五條規定シテアリマス、隨テ再審、非常上告ハ、略
式命令ニ對シテモ出來ル次第デアリマス

○山移委員 ソレカラ非常上告ニ付テ御尋シマス、本案ノ
五百十八條ニ依リマスレバ、非常上告ハ獨リ檢事總長ノミ
ノ權限ニ屬スルヤウデアル、併シ今日ハ時代ガ違ヒマス、
昔ノヤウニ言渡ガアレバ、ソレニ不服ヲ言フコトガ出來ヌ
時代トハ違ヒマス、本案ニ對シテハ、控訴モ上告モ出來ル位
デアル、況ヤ非常上告ノ如キ事ハ、獨リ檢事總長ニ止メズ
ニ、被告本人並ニ辯護人ニ此權利ヲ授與スルコトハ、最モ至
當デアリナイカト思フノデアリマス、之ヲ檢事總長ノミニ限
ラレマシタ理由ハドウデアリマスカ

○林政府委員 審級制度ヲ何階級ニシタラ宜イカト云フ事
ハ、餘程問題デアラウト思ヒマス、今御尋ノヤウナ事ニナリ
マス、ト云フコト、三審級デナクシテ、四審級ヲ置クヤウナ結果
ト同ジ事ニナルデアラウト思ヒマス、今日ノ法制デハ、三審
級ヲ以テ之ヲ適當ノモノト認メテ居リマス、唯非常上告ハ
法律解釋ノ統一ヲ期スル爲ニ、其方面カラ非常上告ノ制度
ガ立ッテ居リマス、ソレデ檢事總長ノミニ中立ノ權ヲ與
ヘル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、併ナガラ檢事總長ガ
ヤルニシテモ、檢事總長ニ適當ノ申出ヲスルヤウナ方法
ハ、實際ニハ講ズルコトガ出來ルト思フ、法律ノ表面ニ於
テハ、檢事總長ノミノ權限トシテ置クノガ、此制度ヲ設ケタ

ナル結果ニナリマスカ、今日之ヲ言明スルコトハ出来ヌノ
デアリマシガ、政府ノ考トシマシテハ、樞密院ノ手續ヲ終リ

マシタ以上ハ、直チニ議院ニ提案ヲ致シマシテ、サウシテ御
協賛ヲ乞ヒタイ考デゴザイマス

○鶴澤委員長 ソレデハ午後ハ豫算會議ガアリマスケレ
ドモ、本會議ニ差支ナイ限り、質問ヲ繼續シタイと思ヒマ
ス、ソレカラモウツハ、案ニ目錄ガ附イテ居リマセヌガ、
政府ノ御説明デハ、目錄ハ法律ニアラズト云フ御意見ヲ附
ケナイト云フコトデアリマス、所ガ審議上、目錄ノ無イノハ
非常ニ不便デゴザイマスカラ、一ツ目錄ノ概要ダケヲ附ケ
テ戴キタイと思ヒマス

○野副委員 一寸御尋致シマスガ、大臣ガ御病氣デアルト
云フコトヲ聞イテ居リマスガ、或ハ今日若クハ明日邊リ御
出席ガ出來ルデアリマセウカ、ドウデゴザイマスカ

○林政府委員 大臣ハ實ハ御病氣ト云ヒマシテモ、レウマ
チデアリマシテ、ドウモドノ位經テラ出ラレルカト云フコ
トハ、ハッキリ分リ兼ねマス、何時モ會ヒマス時ニハ、三四日
經テラ出ラレルダラウト言フテ居ラレマスガ、併シ足ガ惡
イノデ、至テ元氣ハ宜シイガ、歩クコトガ出來マセヌ、併シ
段々宜ウゴザイマスカラ、五六日經テバ出ラレルデアリマ
セウガ、明日明後日ト云フコトハ、ムツカシイ事ト思ヒマス

○高見委員 理由書ハ何時配付ガ出來マスカ

○鶴澤委員長 明朝ニモ配付ガ出來ルト言フテ居リマス、ソ
レデハ午後一時半カラ始メルコトニシテ、是デ休憩致シマ
ス

午後零時十五分休憩

午後一時四十五分開議

○鶴澤委員長 午前ニ引續イテ刑事訴訟法案ノ會ヲ開キマ
ス——森下君

○森下委員 私ノ質問スルノハ、司法大臣ノ責任アル御答
辯ヲ承リタイと思フデアリマスガ、御病氣デ御出席ガ出
來スト云フコトデ據ロアリマセヌカラ、山内次官カラ其
節ニ付キマシテ御答辯ヲ願ヒタイ、其一ツハ捜査處分ト致
シマシテ、檢事ノ活動ハ補佐機關ノ完備ニ依リマシテ、初メ
テ能率ノ發揮ガ出來ルト信ズルノデアリマス、是迄ニ他ノ
委員カラ御質問モアリマシタガ、結局司法部直屬ノ司法警
察官ノ設置ト云フコトハ、是ハ朝野ヲ擧ゲテ法曹界ニ於ケル
ル多年ノ希望デアリマス、ソレガ本案ニ於キマシテハ此大
法典ヲ御改正ナル機會ガ、此朝野法曹ノ希望ヲ達セシム
ル絶好ノ機會デアルト信ズルノデアリマス、ソレガ法案ニ
現レテ居ラヌト云フコトハ、甚ダ遺憾千萬ニ感ズルノデア
リマスガ、此機會ニ於テ此多年ノ希望ヲ達成スルト云フコ
トガ、出來ナイ事情ガ若シ御有リナラバ、其事情ノ御
開示ヲ願ヒタイ、吾々ハ成ベク司法當局ナドニモ力ヲ御添
致シマシテ、此多年ノ懸案ヲ解決シタイト云フ希望ヲ持ッテ

居リマス、先ヅ此一點ニ付キマシテ、隔意ナキ事情ノ御開示
ヲ願ヒタイ

○山内政府委員 司法部專屬ノ司法警察官ヲ置カズンバ、
少クモ特殊ノ事件ニ付テノ捜査ガ、其目的ヲ達シナイト云
フコトハ事實デアリマス、而シテ法曹間ニ於テモ之ヲ希望
サレテ居ルト云フ事モ、能ク承知致シテ居ルデアリマス、
又當局ニ於テモ、其點ニ付テ絶ニ考慮致シテ居ルト云フ
コトモ亦事實デアリマス、而シテ此法案ニ付キマシテハ、其
點ニ關スル直接ノ規定ハアリマセヌガ、間接ノ規定ハ二百
五十條ニ先ヅ根柢ヲ定メテ次第デ、即チ法律ニ掲ゲマシタ
巡查、憲兵卒、ソレカラ府縣ノ警察官、憲兵將校、准士官、下
士ソレカラ警視總監、地方長官、憲兵司令官以外ニ、直營ヲ
以テ司法警察官吏ヲ定メルト云フ規定ヲ置キマシタ趣旨
ハ、其一ツハ司法部直接ノ司法警察官ヲ造リタイト云フコ
トガ、理由ニナッテ居ルト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ置クノデ
アリマス、此基礎ヲ開キマシテ、而シテ先般ダナカノ御尋
ニ、司法警察官ヲ置クニハ費用ハ要ラヌト云フ御話デアリ
マシタガ、是ハ費用ハ要ルノデアリマス、只今此議會ニ直ニ
其費用ヲ要求スルコトハ致シテ居リマセヌケレド
モ、殊ニ在野法曹ノ御希望ナリ、或ハ當局ノ考ハ、此機會ニ
テ於テ實現ノ緒ヲ啓キ、基礎ヲ定メルト云フ考ハ持ッテ居ル
ノデアリマス

○森下委員 只今司法次官ノ御開示ハ、隔靴搔痒ノ感ガノ
ルノヲ免レヌノデアリマス、只今ノ御説明ニ依リマセバ、
先ヅ費用ノ點ニ於テ、此問題ノ解決ガ困難デアルト云フ御
事情ヲ御察シ申上ゲルノデアリマシタガ、御承知ノ通り今日ノ
制度ノ下ニ於キマシテハ、檢事ノ方デ補佐機關トシテノ
警察官吏ハ、悉ク内務大臣ノ管下ニ屬シテ居ル道府縣ノ警察
官吏デアリマス、其道府縣ノ警察官吏ハ、警察官吏中ニ於キ
マシテ、檢事ノ補佐機關トナルベキモノガ、司法主任、又司法
係トシテ其事務ヲ執ッテ居ルノデ、今檢事局直屬ノ警察官吏
ヲ置クト云フコトニナリマスレバ、道府縣ノ警察官吏ノ費
用ヲ割イテ、之ヲ司法省ニ移スコトガ出來得ラル、ト考ヘ
ルノデアリマス、サウ致シマスレバ、或ハ現在ノ在職官吏
ニ、何等影響ヲ殘サヌト云フコトモ言ヒ兼ねマスケレドモ、
内務省所屬ノモノヲ割イテ、司法省ノ方ニ廻スト云フコト
ニ致シマスレバ、サウ甚シイ費用ヲ要セヌト考ヘルノデア
リマス、次官モ御認ニナリマシタガ如ク、特殊ノ案件ニ付テ
ハ、檢事ノ活動ト云フコトヲ十二分ニ達スルコトガ出來ヌ
ト云フコトハ、其事實ヲ認メルト云フコトデアリマス、既ニ
當局ニ於キマシテ斯ノ如ク事實ヲ御認ニナッテ居ル以上ニ
於キマシテハ、而モ現在ニ於キマシテ、網紀肅正ト云フ問題
ガ滿天下ノ問題トナッテ居リマス、檢事局直屬ノ司法警察官

吏ト云フモノヲ御置ニナリマスナラバ、此網紀肅正ト云フ
問題ノ叫ノ聲ノ出テ來ルト云フコトハ、茲ニ緩和スルコト
ガ出來ルト感ズルノデアリマス、私ハ是非共多年ノ希望ヲ
達成スルコトニ、此法案ノ完成ト同時ニ、司法當局ニモ御盡
力下サルコトヲ希望スルコト云フコトヲ申上ゲマシテ、次ノ
質問ニ移ルコトニ致シマス、今度ハ第二ハ、人權ノ尊重ニ關
スル問題デアリマス、人權尊重ニ關スル規定ト致シマシテ、
從來見ザル規定ガ二百五十三條ニ於テ「捜査ニ付テハ秘密
ヲ保持、被疑者其ノ他ノ者ノ名譽ヲ毀損セザル事ニ注意ス
ヘシト云フ規定、又百三十五條ニ於キマシテ「被告人ニ對シ
テハ丁寧深切ヲ旨トシ云々ト云フ規定、又九十二條ニ於キ
マシテ勾留シタル場合ニ於テハ其ノ身體及名譽ヲ保全スル
コトニ注意スヘシト云フ規定ガアリマス、斯ノ如ク被疑者
若クハ被告人ニ對シテ、身體名譽ノ保全秘密ノ確保ト云フ
コトニ付キマシテ、互ニ御注意ニナッテ居ル規定ヲ掲ゲラレ
タト云フコトハ、非常ニ満足スル所デアリマス、ソコデ私ハ
御尋ラシタイと思フ、現在現レテ居ル事案ノ一例ニ付テ申
シマスレバ彼ノ鳩山君ノ取調ノ事件デアリマス、鳩山君ノ
御審理ニ對シマシテハ、檢事局ニ於テハ特ニ夜間ヲ御選ビ
ニナリマシテ、同君ノ名譽ヲ保全スルコトニ御注意サレテ
居ル模様ニ承ルノデアリマス、而モ今日ノ新聞紙ノ機敏ナ
ル報道ト云フ事ニ對シマシテハ、當局ガ秘密ヲ保全サレ
タル云フ御趣意デアラナラバ、其趣意ダケケンレダケ、超越シ
タル機敏ノ行動ヲ執リ得ルダケノ機關ヲ備ヘテ居ル次第デア
リマス、サウ致シマスレバ、折角ノ御規定ガダナカノ御尋
ノ如ク、是ハ唯々表面上立派ナ規定ヲ掲ゲテ、實際上ニ於テ
ハ其實ヲ舉ゲルコトノ出來ナイ、羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ル
規定デナイカト云フ御尋デアリマシタガ、或ハ私ハソレガ
現在ノ社會ニ於キマシテハ、實際ノ非難デアルマイカト考
ヘルノデアリマス、此秘密並ニ名譽ノ保全ト云フコトニ關
スル事ニ付キマシテ果シテ此規定ノ精神ニ副フダケノ事柄
ヲ爲シ得ルダケノ、御成案ガ無イカト云フ事ヲ私ハ承ッテ見
タイと思フ、世ノ中ハ中々神經過敏トナッテ居リマス、唯タ
一片ノ法文ノ規定ニ依リマシテ、實際ニ秘密ヲ保全スル
コトハ、甚ダ困難ナ事デアリマス、サウスルト折角ノ規
定ガアリマスケレドモ、是ガ空文ニ終ルコト云フ、多大ノ研究
ヲ遂ゲラレタ結果ト致シマシテ、甚ダ遺憾ニ感ズル次第デ
アリマスカラ、此規定ヲ實現スルコト云フコトニ、何等カノ御
成案ガアリマスナラバ、其御成案ヲ承リタイ、御成案ガ無イ、
成ベク人ニ知ラサヌヤウニスルノダト云フコトデゴザイ
マスレバ、今日ノ現行法ノ下ニ於キマシテ、捜査並豫審ト云
フモノハ、秘密ト云フコトニナッテ居ル、決シテハ公開デ
ハナイノデアアル、又悉クハ今日ノ檢事局並裁判所ニ於カレ

マシテモ、豫審中ニ屬スルモノ、若クハ捜査中ニ屬スルモノハ、絕對ニ秘密ヲ守ラレル御考デアリマセウガ、而モソレガ一トシテ秘密ノ保持ヲ事實ハ無イ、現行法ノ下ニ於テサヘモ、既ニ秘密ト云フコトノ大原則ノ下ニ取扱ハレタ事件ガ、總テ秘密ヲ保持セタコトノ實際ガ無イト致シマスレバ、茲ニ更メテ秘密並ニ名譽保全ト云フコトノ規定ヲ掲ゲタ所デ、ソレニ對スル何等カノ御對案ガ無イト云フコトデアレバ、全ク空理空文ニ了リハセヌカト思ヒマスガ、ソレニ對スル何等カノ御對案ガアリマスナラベリナリ。

○山内政府委員 御指摘ノ法文ノ事ハ、今日ニ於キマシテモ其精神ニ於テハ同様デ、或ハ訓示其他ノ方法ニ於テ、此趣旨ヲ徹底スルヤウニシテ居ルノミナラズ、檢事其人ニ於テモ、此趣旨ニ付テハ固ヨリ他カラノ注意ヲ待タズシテ、能ク考ヘテ居ラレト云フコトハ、言フヲ俟タヌノデアリマス、之ヲ法ニ掲ゲマシタノハ、何カ賣ル爲メデハナイノデ、狗肉モ牛肉モ賣ル考デハナイ、即チ刑事訴訟法ノ趣旨——人ノ名譽ヲ重シ、捜査ヲ秘密ニスルト云フ趣旨ヲ法律ニ掲ゲマシタノハ、此趣旨ナルモノヲ内規ニ止メズ、即チ法律上ノ根義デアルト云フコトヲ掲ゲタノデアリマシテ、勿論刑事訴訟法ノ執主義ト云フモノガ、此ニ存スルト云フコトヲ天下ニ宣明スルノ趣旨ト云フモノハ在ルノデアリマス、故ニ獨リ司法警察官檢事等ニ對シテ、訓示的ニ示スダケデハナクシテ、天下ニ向テ捜査ノ秘密ヲ保持、而シテ人ノ名譽ハ尊重スベキモノデアルト云フ事ハ、之ヲ以テ宣明スル積リデアル、具體ノ事案ニ付テ御話ガアリマシタガ、ソレハ私ハ別ニ申上ゲマセヌガ、併ナガラ秘密ニスル程秘密ノ下ヲ潜テ、更ニ是ガ世ノ中ニ漏レルト云フコトハ、極メテ遺憾トシテ居ルノデアリマス、如何ナル方法ヲ以テ之ニ向フカト云フコトニナレバ、即チ總テノ方法ヲ以テ向フノデアル、凡テ此事務ヲ執ル者ノ覺悟ハ勿論、社會ノ即チ木鐸トナッテ居ル所ノ新聞記者君ニ於テ、此意味ノ道義ハ守ッテ戴キタイト云フ考ヲ私ハ持ッテ居ルノデ、ドウ云フ方法ヲ以テ之ヲ取締ルト云フヤウナ考ハ無イ、新聞ニ携ハル人ノ道義ノミナラズ、社會全般ノ道義ノ考ニ待ツ外ニハ、私ハ斯ウ云フ事ト云フモノハ實行スルコトガ出來ナイ、形ヲ以テ向カノハ私ハ意味ガ無イと思フ、ダカラシテ此爲ニ特別ノ方法ヲ講ズルト云フ考ハ持タヌノデアリマス、併ナガラ之ニ付テハ特別ナラヌ有ユル方法ヲ以テ、社會ニモ臨ミ、當局ハ勿論ノ事、有ユル手段ヲ盡シテ以テ、此法ノ趣旨ヲ貫徹スベク努ムベキ當然ノ事デアリマス、此意味ニ於テ若シ漏レルト云フコトノ爲ニ、人ノ名譽ヲ害シタト云フコトニナレバ、漏ラヌ人ハ惡意デナクテモ、漏レルヤウナ行動ヲ執ッタ人ノ責任デアルト思フ、サウ云フ次第デアリマスカラ、此法律ヲ履行

スルト云フコトヲ申上ゲ、而シテ之ニ付テハ、強キ覺悟ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲル外ニ、此爲ニ特別ノ施設ハ無イノデアリマス。

○森下委員 只今ノ御答辯以上ニハ、私モ多クノ希望ニ屬シテ居ラヌノデアリマス、唯タ私ハ遺憾ニ考ヘルノハ、洵ニ立派ナ法文ヲ御設ケニナリマシテモ、其責任ガ社會一般、殊ニ世ノ中ノ新聞紙ノ道義心ニ待ツト云フ御言葉、此刑事訴訟ノ案件ニ對シテ、社會一般新聞紙ニ斯ノ如キ道義心ヲ期待スルト云フコトハ、現代ノ世態ニ適切デアルカドウカト云フ事ヲ私ハ疑フノデアリ、サウスレト私ハモウ一ツ進シテ、二百五十五條ノ規定ニ付テ尋ネ見タイ、左ナキダニ現代ノ法制ノ下ニ於キマシテ、世ノ中ニ檢事方能ト云フ聲ガ高イノデアリマス、人ノ身體名譽ニ關シテ、事實上ニ於テ活殺自在ノ權能ヲ持ッテ居ル檢事方能デアルト云フ聲ガ高イノデアリマス、ソレガ未ダ豫審中犯罪アリト云フ聲ガ高イニ又被疑者ノ勾留マデモ爲シ得ルト云フコトニナリマスレバ、私ハソレカラ得ル所ノ利益ヨリハ、此規定ガ或ハ人權蹂躪ノ非難ノ聲ヲ招致スル、甚ニナリハセヌカト惧レルノデアリマスガ、當局ハソコマデノ御考ガ無カッタノデアリマス、或ハサウ云フ危險ハ伴フケレドモ、ソレヨリ以上犯罪ヲ多ク擧ゲ得ルト云フ事實ノ方ガ多イト云フ御考ノ下ニ、此捜査處分ノ強制處分ヲ許スト云フコトノ規定ヲ立案サレタモノデアリマセウカ、先程高見君デアリマシタカノ質問ニ對シテ、刑事局長ハソレハ檢事自身ガ此強制處分ヲスルノデハナクシテ、豫審判事ガ請求シテ、豫審判事ノ決定ニ待ツノダ、ソレガ爲ニ檢事方能ト云フコトニハナラヌト云フ御辯明ニナッテ居リマスガ、現代ノ實際上ニ於ケル檢察制度ノ内容ヲ能ク御承知デアリマスナラバ、私ハ斯ル御答辯ヲ受ケルコトハアルマイト思フ、今日ニ於テモ現行犯ヲ除クノ外、檢事自身ニ於テ令狀ヲ書クコトガ出來ナイ、現行法ニ於テハ悉ク豫審判事、若クハ裁判所ノ令狀ヲ發布ヲ待ッテ居ルノデアリマス、其現行法ノ下ニ於テ、未ダ嘗テ檢事ノ請求シタル令狀、勾引狀、若クハ勾留狀ヲ發布ノ請求ニ對シテマシテ、嘗テ豫審判事若クハ公判ノ裁判所ガ、ソレヲ拒否シタ實例ガアリマス、總テノ記録ノ上ニ、唯タ「令狀請求」ト云フ所ノ四ツノ文字ヲ書イテ、サウシテ之ヲ豫審判事ニ廻ス、若クハ公判ニ廻スト致シマシタナラバ、百件ガ百件、千件ガ千件、悉ク其内容ヲ見ルコトナクシテ、豫審判事並ニ公判判事ハ、檢事ノ要求ノマニ（令狀ヲ出シテ居ルト云フコトモ是ハ事實デアリマス、若シ檢事ノ要求ニ依リマシテモ、尙且ツ豫審判事ガ令狀ヲ出サナカッタリト云フ事實ガアリマスナラバ、私ハ其關係ニ於ケル統計ヲ御示シテ願ヒタイと思

ヒマス、恐ラクハ或ハ一万件ノ中ニ、一件位アツタ事實モアルカハ分リマセヌケレドモ、私共ハ不敏ニシテ、檢事ノ請求ニ依ル令狀ガ、否定サレタ所ノ事實ヲ殆ド知ラヌノデアリマス、事件ノ實際ノ扱ハスノ如シデアリマス、サウ致シマスレバ、其捜査處分ニ對スル強制處分ヲ爲スニ方リマシテ、檢事ハ豫審判事ニ之ガ處分ヲ求メル、若クハ所屬ノ區裁判所ノ判事ニ決定ヲ求ムルト云フ場合ニ分リマシテ、所屬ノ區裁判所若クハ豫審判事ガ此犯罪ヲ能ク密査シテ之ガ勾留狀ヲ出スニ適當ナモノデアルカドウカト云フコトヲ密査シテ、出スモノト云フコトノ御考デアリマスナラバ、是ハ事件ノ取扱上ノ實際ヲ御承知ナイ御言議ナリト私ハ考ヘルノデアリマス、實際上ノ事例ニ照シテ考ヘマスレバ、私ハ此規定ト云フモノハ、或ル程度ニ於テ緩和セネバナラヌ規定デアアルマイカト考ヘテ居リマス、或ハ意見ノ相違ダト云フコトニナリマスカ分リマセヌケレドモ、私ハ非常ニ人權ノ蹂躪ト云フ聲ヲ將來ニ招致スルト云フコトヲ、成ベク防ギ得ルナラバ防ギ得ル機會ヲ捉ヘタイト思フノデアリマス、其點ニ對スル當局ノ御考ハ如何デアリマス。

○山内政府委員 只今意見ノ相違ト言ハレマシタガ、言ハレルコトニ於テ、私ハ意見ハ毫モ相違ヲ致シテ居リマセヌ、同じ考ヲ持ッテ、同じ理想ヲ持ッテ居リマス、然ルニ二百五十五條ノ必要ナル事ハ是ハ已ムヲ得ヌ、實例等ニ付テハ私ハ多クヲ承知致シマセヌガ、殊ニ私ノ最モ狹キ經驗ニ於テ此必要ヲ感ジタノハ、證據ノ保全ノ途方無イカラデアリマス、私ハ自分ニ現在目テ見タイノハ神戶ノ燒打事件、小サナ小僧ガ石油ヲ以テ之ヲ窓カラ放リ込ンデ、後カラ雜巾ニ火ヲ付ケテ放リ込ンデ、其ノ軒ヲ燒キ、三軒先ニ行ッテ又ヤル、見テ居ル人ハアレ（ト言ッテ居ル、然ルニ被告人ハ遂ニ捕ヘルトガ出來ナイ、ソコマデソコヲ檢證シタラト言ッテモ、起訴ナキガ故ニ檢證ガ出來ナイ、又證人ヲ調ベントスルモ事件ガ起ッテ來ナイ、即チ途方無イ、故ニ證人調モ出來ナイ、遂ニニ其事件ノ證據ガ學ラズシテ濟ミハシナイカト云フ虞アルガ爲ニ、機宜ノ處分デ以テ、被告人氏名不詳ト云フ爲ニ茲ニ起訴ラシテ、サウシテ總ニ證據調ガ出來タト云フヤウナ事情モアル、既ニ民事ニ於キマシテモ、起訴前ノ證據保全ト云フコトモアル、或ハ本人ヲ訊問シ、或ハ證人ヲ訊問シ、檢證ヲスル、鑑定ヲスル、即チ事件起ル前ニ於テ是等ノ證據ヲ集メルト云フコトハ、殊ニ此刑事訴訟法案ニ於テ、刑事ノ聽取書ニ一顧ノ値打モ無イト云フコトニナッタナラバ、愈々以テ已ムヲ得ナイ、敢テ人權ヲ蹂躪スルガ爲ニ斯ノ如クシタノデハナイ、當初ニ或人ハ檢事ニ此處分ヲヤラシタナラバト云フコトガアリマシタケレドモ、是ハ反對、獨立ヲ保障スル裁判ヲ以テ爲サシムルコトハナイ、人ノ身體ヲ拘束スル、入

而シテ檢事ガ勾留狀ヲ請求シタ場合ニ、豫審判事ナリ公判判事ガ出サナイ例ハ、萬ノ中ニ一モ無イト云フ事デアリマスガ、御經驗ニ當ラレテ居ル森下君ノ言ハレル事ヲ、敢テ否認スル積リデハアリマセズケレドモ、私ハサウハ考ヘテ居ナイノデアリマス、勿論豫審判事ナリ、或ハ公判判事ニ於テ勾留スベカラズトシテ勾留セザリシ例ハ、殊ニ人ノ名譽ヲ重ンズル別ニ必要アルヤウナ事件ニ付テ、澤山アリマスノミナラズ、如何ニ檢事ト雖モ、勾留スベカラザル者ニ、何デモ被告人ナラバ縛ラウト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルコトハ無イ、森下君ハ檢事モ大分長ク勤メラレテ、名檢事ノ名モアツタ人デアリマス、無暗ニ勾留シヤウ、勾留狀請求ト云フコトヲ、苟モ被告人ト見タラ仇ト思ッテサレタ例ハ私ハ見タコトハナイ、總テノ檢事亦然リデアリマス、被告人ナラ縛ルガ一番宜イノダト云フヤウナ、縛ル外ニハ力ガ無イト云フヤウナコトヲ、檢事ニ考ヘテ居ル人ハ殆ド無イノデアリマ

置キマス
○山内政府委員 夜間訊問ノ最モ宜シクナイト云フコトハ、私ハ承知シテ居リマス、夜間ノミナラズ、十時頃迄例ヘバ口述試験ヲシテ居ル、是スラ辛ライ、試験ヲ受ケル人ガ辛ライノミナラズ、試験ヲスル方モ辛ライ、又夜半頃ニ役所ニ出テ來イト言ハレルト、私共睡イ時ニハ辛ライ、サウ云フ時ニハ頭ガ混亂シテ居ルカラ仕事ガ出來ナイ、殊ニ被告人ヲ訊問シテ、名譽ニ關スル重大ナル場合ニ於テ、夜間檢事ガ立替リ入替リ訊問スル場合ニ於テハ、其人ノ心狀健康上洵ニ宜シクナイ事ハ能ク考ヘテ居リマス、今日ニ於キマシハ、私ハ檢事ガ無理ニサウ云フ事ヲ爲シタ例ハ絶無ト申上ゲテ差支ナイ、唯タ被告人ノ方カラ、晝調ベラレテハ如何ニ自分

ト其被疑事件ノ證據ヲ蒐集スル方法トシテシケンレカ檢事局ニ送致シ得ル迄ノ間ニ、警察犯處罰令ヲ濫用シテ、十日デモ二十日デモ勾留處分ニ附シテ置イテ、其間ニ或ル程度ノ證據ヲ集メテ、其證據ノ集ツ所デ、此現行犯トシテノ被告人ヲ檢事局ニ送致スル、斯ウ云フ實際ノ事實ガアル、此警察ニ於ケル留置ト云フコトハ、豫審ニ於ケル密監禁以上ノ辛苦ヲ關係者ニ嘗メサセルコトハ、爭ノナキ事實デアリマス、故ニ此百一十七條ノ規定ト相須チマシテ、警察犯處罰令ノ適用ニ付テ濫用ヲ防止スルコトヲ、司法當局ニ於テモ或ル程度ノ御考慮ヲ運ラサレテ居ルカドウデアリマスカ、サウシマセスト、折角ノ規定ガアッテモ、十日モ二十日モ留置場ニ打込デ置クコトガアッテハ、是方空文ニ了ルコトヲ虞レルノデアリマス、實際上ノ取扱カラ私ハ此質問ツ發スルノデアリマス

○山内政府委員　警察官ニ於テ他ノ　據ヲ掴マヘルガ爲ニ、先ツ違警罪ヲ留置シテ、サウシテ其間ニ物ヲ調べ、調

べ損ツトキニハ其儘放還スルト云フヤウナコトガ、一般非常ナリ法曹間ノ攻撃ガアツコトヲ知テ居リマス、今ヲ距ルコト三十年位前ニ私ガ裁判官ヲシテ居ル時ニ、能ク承知シテ居リマス、此點ニ付キマシテ法曹ノ攻撃ガ盛ナルガ爲ニ、而シテ當局ニ於テモ注意ヲスル爲ニ、殆ド私ハ根絶シテ居ル例外ト信ジテ居ルノデアリマス、併ナガラ司法警察官ノスル事ニ付テ、總テ司法當局デ隔ニハ隔カラ干渉致シテ居リマセヌカラ、一二ノ矢張從前ノ例ガ殘テ居ルカ居ラヌカソレハ承知シマセヌガ、大體ニ於テ此非難ノ聲高キガ爲ニ、サウ云フ拙イ古臭イ手段ト云フモノハ、段々止ンデ居ルコト、考ヘテ居リマス、ノミナラズ、斯ウ云フ事ヲ法律ニ掲ゲテ、ドウ云フ風ニ書クカ知リマセヌケレドモ、違警罪ノ爲ニ縛テ置イテ、之ヲ犯罪捜査ノ手段ニスベカラズトカ云フコトヲ法律ニ書クベキ事デナイ、是ハ當局ノ——主トシテ内務當局ノ警察官監督ノ上ニ於テ、總テノ注意ニ依ツテ、段々警察ヲ善化シテ行ク方法デアラウト思フガ、私ノ僅カナ經驗ニ依レバ、段々其弊ト云フモノハ無クナテ居ルト承知致シテ居リマス、毎々申シマス通り、刑事ノ實例ニ付テハ素人デアリマス、刑事局長カラ尙ホ其點ニ付テハ説明スル所アルベシト考ヘテ居リマス、

○森下委員 私ハ只今ノ御答辯デ詢ニ満足致シマスガ、私ノ希望トシテハ、斯ウ云フ事ニ依ツタナラバ弊害ヲ防止シ得ルコトト考ヘテ居リマス、現行犯トシテ逮捕シタ者ヲ、四十八時間内ニ檢察局ヘ送ルト云フコトニナツテ居リマス、現行犯トシテ逮捕シタ者ニ對シテ四十八時間置クナラバ宜シイケレドモ、現行犯トシテ送ルニハ證據不充分ト云フノデ、先ヅ第一ニ勾留ニスル、勾留十日ナリ、十五日ナリニ付シテ置イテ、ソレガ終ラナケレバ送ラスト云フコトニナツテ居ルカラ、ソコデ勾留ト云フ事ガ罪證ヲ蒐メル一ツノ手段トナツテ居ル、ソレノ犧牲トナツテ十日ナリ十五日ナリ置ク、現行犯トシテ被告人トシテ逮捕シタ以上ハ、四十八時間内ニ送ラナケレバナラズ、之ヲ僅カナ警察犯處罰令ノ犯行ノアルトシテ、ソレノ處分ヲスル、サウシテ罪證ヲ蒐メル爲ニ、十日ナリ十五日ナリ犧牲ニスルト云フコトハ、人權蹂躪ノ最モ甚シイモノト思フ、今救濟ノ規定ハドウデモ此ハ此方法デ出來ルト思ヒマスガ、是ハ刑事局長カラノ御答辯デ宜シイガ、斯ウ云フ方法ニ依ツテ防止スルト云フコトハ、如何カト思ヒマス

○林政府委員 御尋ノ點ニ付テハ司法次官ノ御答デ大概要ヲ盡シテ居ルト思ヒマスガ、此百一十七條ニ於キマシテハ、今御話ニナリマシタヤウニ、人權尊重ノ趣意カラシテ、四十八時間以内ニ處置ヲ付ケテ、サウシテ手續ヲ運ブヤウ、斯ウ云フ事ヲ明ニ致シマシタ次第デアリマス、刑事訴訟法ノ規

定トシテハ、私ハ是ダケデ十分デアラウト思ヒマス、詰リ違警罪即決例ヲ適用シテ、警察署ニ於テ處分スル例ハ澤山アリマシ、或ハ事實ノ見方ヲ誤ラデ、即決スル事モ無イトハ限リマセヌケレドモ、サウ無闇ニ亂暴ナ處置ヲスル事ハ無イト確信シテ居リマス、若シ其點ニ付テ實際ノ遺方ガ不十分ナ點ガアレバ、是ハ所管ガ内務大臣ノ管轄ニ在リマス、詰リサウ云フ處分ヲシマスノハ警察署長、若クハ警察分署長トシテヤリマス、刑事訴訟法ニ依ル司法警察官トシテヤル關係ニハナツテ居リマセヌ、サウ云フ點ニ付テ弊ガアレバ、外ニ法規ヲ立テルナリ外ノ手段ヲ執ルナリ、別ノ方法ヲ執ルベキモノデアツテ、少クモ刑事訴訟法ニ規定スルモノデハナイト考ヘテ居リマス、刑事訴訟法ノ規定トシテハ、是ダケデ十分考ヘテ居リマス、無論其趣意ニ於テ其等ノ事ニ付テモ、十分注意ヲ置クト云フコトハ、茲ニ明言シテ置ラナイノデアリマス

○森下委員 私人ハ成ベク刑事訴訟法ハ、刑事訴訟法トシテ單ニ孤立シタ法制デナク、總テノ他ノ法令ト連絡ヲ保ツテ、適用上遺憾ナキヲ期シタイト思ヒマス、ソレガ爲ニ只今質問シタ次第デアリマシテ、私ノ質問ノ趣意ハ何ノ時カ實現スル機會モアラウト思ヒマス、更ニ今度ハ事實ノ真相ヲ探明スルト云フ方法ニ於テ、三百四十一條ヲ設ケラレタコトニ付キマシテ、非常ニ私ハ満足ニ考ヘルノデアリマス、即チ關係者ガ十分ナル供述ヲスルコトガ出來スト云フコトヲ認メラレル場合ニ於テハ、其供述中ニ被告人ヲ退廷セシムルコトハ洵ニ事務ノ實際ニ徴シマスレバ、適切ナル規定ナリト考ヘルノデアリマス、私ハ折角ノ此規定ヲ、一ツ尙ホヨリ以上ニ價值アラシムルガ爲ニ、傍聽人ノ一部若クハ全部ノ退廷ヲ爲シ得ルノ規定ヲ設ケラレタラドウデアラウト考ヘルノデアリマス、御承知ノ通り茲ニ證人ガ一人出テ、ソレニ對シテ非常ナ權勢ヲ有テ居ル親分ト云フ者ガ傍聽席ニ一人控ヘテ居ルナラバ、利害關係ヲ持テ居ル親分ト云フ者ガ居ツタナラバ、決シテ其事件ニ關係アル證人ガ出マシテ、親分ニ對シテ——私共ハ常ニ脅迫事件ナド——脅喝事件ナドニ關係致シマシテ其ノ被告人ナドニ就テ脅喝ヲ受ケタト云フ被害者ヲ證人ニ喚ビタキニ、其ノ親分ガ控ヘテ居ル、万一其被害ニ對シテ不利益ナ證言ヲスルナラバ、如何ナル危害ヲ加ヘラレカ分ラナイト云フ威勢ヲ示ス、或ハ金錢ノ利害關係ヲ持テ居ル者ガ背後ニ控ヘテ居ルガ爲ニ、眞實ノ供述ヲスルコトガ得ラレスト云フ場合ガ屢々アル、單ニ事件其モノガ安寧秩序ニ關スル場合ニハ、是ハ當然公開ヲ止メルコトガ出來ルノデアリマスガ唯、此事件ノ真相ヲ探明スル上ニ於テハ、此法文ニモウ一ツダケ加ヘタ所ノ規定ヲスルヨリ

外ニ、途方無イデハナイカト考ヘマス、何カソレニ對スル御考ガアルナラバ伺ヒタイト思ヒマス

○林政府委員 只今御尋ノヤウナ若シ兇惡ナル人間ガ傍聽席ニ居ラデ、證人ナリ被告人ナリヲ脅ス、ソレガ爲ニ眞實ハ陳述ガ出來スト云フヤウナ事情ガアレバ、是ハ裁判長ノ秩序維持權、法廷警察權ニ依ツテ、退廷ヲ命スルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、即チ裁判所構成法ノ規定デ、其規定ヲ適當ニ運用スレバ、今御心配ノ様ナ事ハ無カラウト思ヒマス、刑事訴訟ノ條文ハ是デ十分デアラウト考ヘテ居リマス

○森下委員 最後ニモウ一ツ伺テ終リマス、判決ノ言渡ニ、罪トナルベキ所ノ事實及證據ニ依ツテ、之ヲ認メタル理由ノ説明ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、此條文ハ是迄ノ條文ト餘リ變リガナイ——三百六十二條デス、所ガ實際ノ取扱ハレタル事例ニ依リマス、所謂證據ノ列舉デアリマス、唯テ誰某ノ斯ウ言フタリ言、誰某ノ爲シタル斯ウ々々云フ手續、檢證ト云フヤウナ事タケ、證據ノ列舉ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ綜合シタト云フ、綜合認定ト云フコトノ形式ニナツテ居リマスガ、實際ニ於テハ洵ニ下ラヌモノデアリマス、ソレハ眞ニ裁判トシテ、成程斯ウ云フ理由ニ依ツテ自分ハ處分ヲ受ケタノデアルカト云フコトヲ、被告人本人ニモ、判決ヲ受ケル者ニモ、心ノ中カラ諒解シ得ル理由ヲ附スルト云フコトハ、洵ニ正常ト考ヘマスガ、今日ノヤウニ唯タ列舉主義、綜合主義、綜合認定、唯タ證據ヲ羅列スルニ止マルナラバ、何等是ガ本當ノ事實ヲ認定シタ判決ノ理由ヲ附シタト云フコトニハ、ドウシテモナラヌノデアリマス、ソレニ對シマシテ何等カ當局ニ御考ガアリマスガ、矢張是マデ通りノ形式ヲ執ツテ、ソレデ満足サレルト云フ御趣意デアリマスガ、其點ヲ一ツ伺ヒマス

○林政府委員 只今御尋ノ點ハ、司法當局ニ於テモ全く同感デアリマス、複雑シタル事件ニ付テ唯タ證據ヲ羅列ト雖列スル、斯ウ云フ事デハ、法律ガ判決ニ證據説明ヲ要求スル精神ニ合シナイト云フ事ハ明カデアリマス、ソレデアリマスカラ、今日ノ判決ノ書振リニ、當局ハ決シテ満足致シテ居リマセヌ、是ハドウシテモ將來ニ於テハ段々ニ改善致シマシテ、サウシテ判決ヲ受ケタ者ガ承服スル程度ニ理由ヲ説明スルト云フコトハ、必要デアラウト思ヒマス、併ナガラ法律論トシテ、ソレデハ證據ヲ羅列スルダケデハイカヌカト云フト、ソレモ一概ニハ言ヘマセヌ、極メテ簡單ナ事件ニ付テデアリマス、例ヘバ竊盜事件ガアル、被告人ノ自由、被害者ハ何時幾日ニドウ云フ物ヲ盜マレタト云フ、是ダケノ事實ヲ羅列スレバ説明ニ十分デアル、ソレデ説明ニナルト思ヒマスガ、複雑ナル事件ニ付テハソノ事デハ説明ニナリマセヌ、ソレ

デアリマスカラ、法律ノ規定ハ之ニ止メナケレバナリマセ
スガ、實際局ニ當ル人ガ法律ノ精神ヲ十分ニ酌取ツテ、法律
ノ精神ニ合フヤウニシナケレバナリマス事デアルト考ヘテ居
リマス

○森下委員 満足シタト云フ一言ヲ殘シマシテ、私ノ質問
ハ打切りマス

○永屋委員 竊ニ二百五十五條ニ關シテ、森下君カラ色々
御尋ニナリマシタ、私モ其感同ジウシテ居ルノデアリマ
スガ、ソレニ對スル山内府委員ノ御答ニ、神戶ノ燒打事件
ノ例ヲ御引用ニナツテ、之レ有ルガ故ニ、此規定ガ必要デア
ルト云フガ如ク仰シヤツタ、ソコデ私ハ非常ナル疑ヲ起シ
テ來タノデアリマス、只今山内府委員ノ御説明ニナツタ事
柄ノ如キハ、現行刑事訴訟法ノ百四十四條ニ規定ノアル現
行犯デアラルカシテ、若シ事實犯罪事項デアリ、犯人ガ分
テ居ルニモ拘ラズ、之ガ處分ガ出來ナカッタト云フコトニナ
レバ、刑事訴訟法ノ缺點デハナク、當該官吏ノ無能ト謂ハナ
ケレバナラヌト思フ、何レニシテモ、二百五十五條ノ必要ナ
ル理由ヲ説明スルニ足ル問題デハナイト思フ、殊ニ此改正
法案ニモ現行犯ノ規定ト云フモノガアツテ、私ヲ以テ見
レバ、山内氏ノ説明サレタ如キモノハ、是デ律ニベキモノト思
フ、ソコデ私ノ疑問ニナツテ來ルノハ、二百五十五條ト現行處
分トノ關係デ、之ニ付テ承リタイ、私ヨリ忌憚ナク申シマス
レバ、甚ダ失禮ナ言葉カ知リマセヌガ、二百五十五條ガ只今
山内府委員ノ説明ノ如キモノトスレバ、全く無用ノ條文
デアルト謂ハナケレバナラヌ、マサカニ賢明ナル山内君ガ
現行法規定ヲ御承知ナラナイコトモナイト思フノデアリマ
ス、マサカ又森下君ノ質問ニ對シテ、一時ヲ瞞過スベク異
タル例ヲ擧ゲラレタル次第デモナイト思ヒマスカラ、是
於テ私ガ非常ニ疑ヲ起スコトニナリマス、ドウカ二百五十
五條ト、現行犯處分規定トノ關係ノ御説明ヲ煩ハシタイ

然デアル、現行犯ニ付テハ他ニ規定ガアル、犯人ガ明ニナ
テ、之ヲ現行犯トシテ取扱フコトガ出來ルコトハ、現行犯ト
シテヤルノガ當然デアリマス、是カラ先ハ稍々、專門ノ事ニ
ナリマスカラ、私ノ説明ノ足ラザルコトハ、承知シテ居リマ
ス、刑事局長カラ補足シテ、直ニ説明スルコト、考ヘテ居リ
マス

○林府委員 本案ノ二百五十五條ニ付テハ、度々各委員
カラ御質問ガアルヤウデアリマスカラ、今迄ノ御質問其モ
ノニ拘泥セズニ、二百五十五條ト云フモノ、立案ノ趣意ヲ、
明白ニ致シタ方ガ宜カラウト考ヘル……

○永屋委員 竊ハ此案ノ趣旨マデ説明シテ貰ハナクテモ宜
イノデアリマス、ソレヨリ先ニ一寸聽キタイ、立案ノ趣旨
ハ、他ノ委員ノ質問ニ對シテ答ヘラレタ所ニ依ッテ諒解シテ
居ル、一ツ承リタイノハ、是ハ山内サンニ承リタイノデアリ
マス、犯人ガ不明デアルト云フコトヲ仰セニナリマスケレ
ドモ、今示サレタ事件ノ如キハ犯人不明デハナイ、アノ小僧
ガ石油ヲ投送シタ、火ヲ放ケタ、此家ニ於テ左様ナ行動ヲ執
ツ、次ノ家ニ行ツテ又ヤツテ居ル、アレノ又ヤツテ居ルト云
フコトヲ、總テノ者ガ認メテ居ルト云フノデ犯人不明ナ場
合デハナイ、其犯人不明ノ場合デナイトスレバ、私ノ是マデ
諒解スル所ニ依レバ、現行犯ノ規定ニ依ッテ處分ガ出來、
二百二十五條ヲ待タス、然ルニ山内府委員ノ説明ハ、其例
ノ一ツデアルト仰シヤツタ、一ツナラバ二百五十五條ニ今ノ
例ガ適切ニ當ツテ居ルトスレバ、現行犯ノ規定ガ分ラナクナ
ルカラ、ソコデ御答辯ヲ願ヒタイノハ、今ノ例ガ二百五十
五條當ルノカドウカ、之ヲ承レバ自ラ分ル

○山内府委員 竊ハ其現場ヲ能ク承知致シテ居リマス
ガ、誰デモ能ク知ツテ居リマス、アレノアノ小僧ガ火ヲ放
ケタ、赤燐ヲ掛ケテト云フガ爲ニ、失火ナラザルコト、放火
ナルコト、凡ソ分ルノデアアル、何万人何十万人ノ人ガ此處ニ
集ツテ來テ居ルコトデアリマシテ、檢事モ其時ニハ居ナカ
ツタ、警察官モ其場合ニハ追跡シツ、アツタ、或ハ帳簿ニ印シ
ヲ付ケタリ何カシテ、後デ人間ヲ引上ゲルト云フ例ガアル
ノデスカラ、放火ガアル、暴行ガアルト云フノデ檢事ガ之ニ
著手スルトキハ、既ニソレガ終ツタ後デアル、其處ニ來テ見
テ居ツタノナラ、誰ガヤツタト云フコトハ分ツテ居ルケレド
モ、檢事ガソレヲ誰ガシタカト云フコトヲ確認ガ出來ナカ
タト云フ事情ガアルソレハ神戶ノ事情ヲ御承知ニナレバ、
確ニアレハ誰ガヤツタト云フコトハ、分ラナカッタト云フコ
トハ分ル話、調ベテモ分ラナカッタ、現狀ヲ檢事ガ自ラ見テ
居ツタ譯デアリノデスカラ、後デ爲ス暴動ガ納ツテ、附和隨行
シテ來タ幾万ノ者ヲ捕ヘテ、實ニ下ラナイ目ニ逢ツタト云フ
ノデ、濟ンダ後々色々聞ケバ斯ウ云フ譯ダ、ア、云フ譯ダト

云フノデ誰ガヤツタカ分ラナイ、ソコデ事實ニ於テ結局分ラ
ヌケレドモ、何トカシナケレバナラヌト云フノデ氏名不詳
ノ者トシテ起訴シタ、檢事ハ之ヲ現行犯トシテ確認シテ
居ルト云フ次第デハナイ、アノ當時ノ狀態ハ檢事ガ側ヘ行
テ、被告人ヲ追跡シタト云フ事情デハナイ、事納ツテ人々ノ
口カラ事情ヲ聞イテ、赤燐ヲ掛ケタ者ガ、一人石油罐ヲ投
テ廻ツテ居タト云フコトガ後デ分ツタ、逆モアノ時ニ檢事デ
モ警察官デモ捕ヘ得ルヤウナ事情デハナカッタ、併シ後デ事
情ハ能ク分ツテ居ル

○永屋委員 益々疑ヲ深クスルコトニ相成リマスノデ、サ
ウ致シマスト云フ、今後ニ只今山内次官ガ御説明ノ如キ
事情ノ場合ニ、二百五十五條ガ、適用ニナルカドウカト云フ
コトガ疑ニナツテ來ル、是ニ於テ私ハ林府委員ニ二百五十
五條ト、現行犯處分トノ關係ニ付テ、今山内君ガ示サレル事
情ヲ願ミツ、御説明ヲ下スタナラバ、大ニ審議上便宜ノコ
トト思ヒマス

○林府委員 司法次官ノ御答デ分ツテ居ルト思ヒマスガ、
現行法ニ於テハ、被告人不明ノ儘デ豫審請求ヲスルト云フ
コトヲ認メテ居リマス、併シ本案ニ於テハサウ云フコトヲ
絕對ニ禁ジマシタ、被告人ノ何人タルカト云フコトヲ確定
シナケレバ、起訴ハ絕對ニ許サヌト云フコトハ、二百九十三
條ニ明白ニ定メテアル、此點ハ一言申上ゲテ置イタ方ガ宜
カラウト思ヒマス、ソレカラ二百五十五條ト現行犯トノ關
係ハ、要スルニ二百五十五條ハ現行犯非現行犯ト別ニ定メ
テナイ、現行犯ノ場合ニハ、現行犯ニ關シテ特別ノ手續ヲ特
別ノ法文デ認メテ居ル關係デアリマス、別ニソレ以上申上
ゲル事ハ無イト考ヘテ居リマス

○永屋委員 兎ニ角此問題ハ打切ツテ置キマシテ、次ニ御尋
致シタイ、ソレハ略式手續規定ガ此法案ニ載ツテ居ル、所ガ
此略式手續アルガ爲ニ、輕微ナル事件ノ處罰上、裁判所ガ至
極便宜デアルト云フコトハ認メマスケレドモ、此便宜アル
ガ爲ニ幾多ノ弊害ヲ生ズルノデアアル、悉ク其弊害ノ——如
何ナル弊害ガアルカト云フコトヲ實際ニ付テ申上ゲルコ
ハ、時間ヲ省略スル意味ニ於テ省キマスガ、非常ナ弊害ガア
ル、唯タ其ノ一例ヲ申上ゲマシテモ、非常ナ輕微ナル事件デア
ルガ爲ニ、略式手續デ罰セラレル、略式手續デ罰セラレルガ
故ニ、其儘被告人等モアノト云フノデ、刑ヲ甘受シテ居
ル事ガ往々ニシテ行ハレル、サウシテ正式裁判ノ手續ノ狀
況ヲ見ルト、略式手續ニ依ッテ處分スル輕微ナル事件ヨ
リ何レモ比較的重大ナル事件デアアル、其重大事件中ノ最モ重
大ナルモノニ付テハ必ず起訴セラレ、必ず刑罰ノ責任ヲ問
ハレルコトニナリマスケレドモ、其中デ重大ナルザル事件
ハ、所謂微罪不檢舉デアルトカ、起訴猶豫ニナラナクトモ、

罪有リト雖モ、問ハスト云フコトニナリマス、刑事事件ノ總體ヲ通視シタトキニハ、非常ニ重大ナ事件ト非常ナ輕微ナ事件トガ必ズ罰セラル、其中間ノ事件ハ之ヲ問ハスト云フ形ニナリテ來テ、刑罰ノ公正ヲ缺クノ嫌ガアル、ソレカラ如何ニ微細ナ事件ト雖モ、略式手續ニ依ッテ犯罪者トセラレマス、ト云フト、日本人ノ最モ美風ト考ヘテ居リマスガ、罰金一ツモ喰ッタコトモ無イ、科料一ツ處セラレタコトモ無イト云フヤウニ、所謂戸籍ヲ汚シタコトノ無イト云フ言葉ノ下ニ、左様ナ觀念ノ下ニ非常ニ自己ヲ謹慎シ又常ニ家族ニ注意訓戒ノ資料トシテ居ルノデアルガ、略式手續ヲ端ナクモ罰セラレト云フコトニナレバ、此美風ヲ破ッテ、却テ犯罪ヲ敢テスル所ノ機會ヲ増サシムルノ嫌ガアル、其他略式手續ニ付テハ、正式裁判ノ請求ヲ受クル道ヲ開イテアルニモ拘ラズ、裁判所ノ活版摺リノ正式裁判、請求權拋棄ノ申立書ト云フモノヲ拵ヘテ置イテ、ソレニ被告人ノ殆ド理解ナキ下ニ記名調印サセテ取ッテ置イテ、サウシテ刑ヲ確定セシムルト云フコトガ實際ニ於テアルノデアル、其他略式手續ノ弊害ト云フコトニ付テハ、昨年私ハ此略式手續ノ廢止法律案ヲ提出致シマシタ關係上、委員會ニ於テ多少詳シク述べ居リマスルシ、又ソレノ專門ノ方モ委員ニナリテ居ラレタノデスカラ、今日ハ詳シク申シマセヌガ、弊害ノアルト云フコトハ掩フベカラザル事實デアル、ソコデ此手續ヲ本法ヨリ省クベキモノデアルト私ハ思フ、ソコデ政府ノ御所見トシテハ、省クコトハ出來ナイ深甚ナル理由ガアラウト思ヒマス、ソレヲ承リタイノデアリマスシ、又能フコトナラバ吾々ノ意ニ御同意ヲ賜フテ、之ヲ略式手續ノ章ヲ削スルコトニ御同意ヲ得タイ、斯ウ云フノデアリマス

○林政府委員 略式手續ニ拘ラズ、總テノ制度ハ多少利弊ガ伴フト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ヌ事デアリマシテ、略式命令モ或場合ニ於テ、多少弊ガナイト云フ事ニ斷言シ切ルコトハ出來ヌカモ知レマセヌガ、併ナガラ政府ノ見ル所ニ依レバ、略式手續ト云フモノハ、公私兩方面ニ亘ッテ非常ニ好都合ノモノデアル、隨テ無論此法案ノ中カラ、之ヲ創除スル考ハ無イコトヲ確言シテ宜シイノデアリマス、詰リ略式命令ニ對シテハ、正式裁判ノ請求權ガアルノデアリマスカラ、被告人ガ略式命令ノアル場合ニ泣寢入ラスルト云フコトハ、ドウモ考ヘルコトハ出來マセヌ、又他ノ方面カラシマス、ト云フト、輕イ處分ヲ受クベキ事案ガアル、而シテ事實ガ明白デアッテ、被告人モ爭ガナイ、斯ウ云フヤウナ場合ニ普通ノ手續ニ依ッテ公判ヲ開イテ、喚出サレテ面倒ナル手續ニ依ッテ裁判ヲ受ケル、斯ウ云フヤウナ事ハ、被告人自身ニ取ッテモ、迷惑ナ次第デアリマス、略式命令ハサウ云フヤウナ次第デ、犯罪ノ嫌疑ヲ受ケタ側ノ方面カラ、非常ニ歡迎サレ

テ居ル事實モアリマス、サウ云フ次第デ、或ハ極ク少數ノ場合ニ於テ、何等カノ弊ガアツタカモ知リマセヌガ、大體ニ於テハ非常ニ宜シイ制度デアルト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

○永屋委員 此略式手續ニ依ッテ處分サレタ事件數ト、ソレカラ其中デ正式裁判ヲ求メタ數ト、ソレカラ其正式裁判ヲ求メテ居ル結果ト云フヤウナ統計デモアレバ、示サレンコトヲ望ミマス、委員長カラ、ドウカ其事ヲ政府委員ニ御傳ヲ願ヒタイ

○鶴澤委員長 承知シマシタ

○林政府委員 今ノ點ハ略式命令ニ對シテ正式裁判ヲ申立テタ數トカ、ソレカラ略式命令ノ數ト、正式裁判申立ノ數ト云フコトハ、直ニ分リマスガ、併シ正式裁判ヲ申立テタ結果如何ニ略式命令ガ變更サレタカト云フコトハ、是ハドウモ今持ッテ居ル統計ニハ出テ居リマセヌ、特ニ調ベタケレバナナラヌカモ分リマセヌ、隨テ近ク之ヲ調ベテ御答スルコトノ御約束ヲスルコトハ、困難デアリマス、必要ガアレバ相當ナ時間ヲ御假シテ願ハナケレバナラヌ、ソレニハ全國ノ裁判所ヘ照會シナケレバ出來マセヌカラ、是ハ一寸ムツカシカラウト思ヒマス

○永屋委員 ソレカラ次ニ附帶私訴ノ規定デアル、附帶私訴ノ規定バ、現行ノ刑事訴訟法ノ組立ノ上ニ於テモ、餘程考究ヲ要スルヤウナ事柄デアル、況ヤ此改正案ニ依ッテ見マス、ト云フト、一層此附帶私訴ヲ認メタ所ノ理由ハ薄弱ニナルヤウニ私ハ思フ、是モ條文ヲ擧ゲテ一々私ノ意見ヲ證明シテ論ズルノ煩ハ省キマス、認ムルニ此附帶私訴ノ規定ハ、眞ノ被害者ガ告訴スル場合ハ別デアリマスガ、實際カラ見テ眞ノ犯罪ニ依テ被害ヲ受ケタ者デナイ者、此規定アルガ爲ニ、濫リニ告訴スルト云フ弊モ一面ニ於テハアルト思フ、サウシテ是ガ裁判所ニ提起セラレタ後ノ手續、或ハ裁判所並其執行ノ點ノ實際ヲ見マス、ト云フト、甚ダ不便不都合ナル點モアルシ、旁々之ヲ設ケルノ必要ハナイヤウニ思フシ、況ヤ是ハ民事訴訟法ニ基イテ損害ノ要求ヲ致シタ、是コソ本當ノ適當ノ方法デアアルノデアリマス、必要ナキ規定ノヤウニ思ヒマスガ、之ヲ尙ホ存置セラレテ居ル所ノ理由ニ付テ御説明ヲ煩シタイ

○林政府委員 私訴ノ制度ヲ設ケル理由ハ、格別目新シイ理由ハ無イノデアリマス、要スルニ從來カラ一般ニ認メラレテ居ル通り、犯罪ヲ原因トシテ、之ニ依ッテ生ジタ私法上ノ權利ヲ主張スル訴デアリマスカラ、刑事訴訟手續ニ付テ公訴ニ附帶シテ審理スルト云フコトハ、時間ヲ節シ、努力ヲ省キ、又費用ヲ減ズルト云フヤウナ實際方面ニ於テ、便宜ガ少ラカラス、斯ウ云フ所カラ私訴ノ制度ヲ設ケテ居ル

○林政府委員 辯護人ハ、被告人ノ爲シ得ル事ハ、代理權ト

次第デアリマス

○永屋委員 豫審ノ證人調、又ハ被告人ノ審問ニ速記ヲ附ケルコトヲ許シテナイノデアリマスガ、私ヲ以テ見レバ豫審ノ調書ガ何時モ問題ニナッテ、豫審判事ガ或ハ脅喝詐言ヲ用キタトカ、若クハ強ヒタトカ云フ事ハ屢々起ルノデ、ソコデ既ニ公判ニ於テ速記ヲ附スルコトヲ許シタ以上ハ、豫審ニ於テモ速記ヲ附スルコトヲ許シテ、公判ノ同様ニ其速記ノ效力等ニ付テモ取扱フベカラザルハ、又證人被告人ニ取ッテ少カラザル利益モアルシ、場合ニ依ッテハ豫審判事其人ニ取ッテモ、非常ナル利益ノアル事デアアル、要ハ豫審調書ナルモノヲ成ベク詳シク書クト云フコトガ兩者ノ利益デアアル、理窟トシテモサウナケレバナラヌノデアアルガ、ソレガ詳シク書カレスト云フコトガ今日豫審調書ノ仕來リデアアルカラ、一層詳シク其狀況ヲ記載セシメルト云フ意味ニ於テ、速記ヲ附スルコトハ少シモ之ヲ拒ムベキ理由ハ無イト思ヒマスガ、政府ノ所見ハ如何デス

○林政府委員 豫審ノ手續ハ申ス迄モナク公判トハ違ヒマシテ、之ヲ公開スルモノデハナイノデアリマス、即チ密行ヲ原則トスルノデアリマスカラ速記者ヲ其處ニ立會シメルト云フコトハ、大體ノ趣意ニ於テ宜シクナカラウト思ヒマス、ソレデスカラ速記ヲ附スルト云フコトハ、公判ノ手續ニ止メルト云フ本案ノ趣旨デ至極宜カラウト考ヘテ居ルルノデス

○永屋委員 豫審ガ公開デナクシテ密行デアルト云フ原則ノ如キハ、私モ固ヨリ承知シテ居ル、所ガ豫審ニ速記ヲ附ケルト云フコトハ、速記ハ書記ト同ジヤウナ關係ニ於テ附ケルト云フ制度ニ致シタナラバ、豫審密行ノ原則ニ悖ラザル制度ノ立方ハ出來ルノデアアル、況ヤ此改正案ニ依リマスルト云フト、豫審ニ辯護士ヲ附スルコトハ許サレテアルノデ、單ニ此豫審密行ナルガ故ニ、其一事ヲ以テハ速記ヲ拒ム理由ニ私ハナラヌト思フノデアリマス、是ハ政府ニ於テ斷然豫審ニハ速記ヲ附セナイト云フコトノ御意見デアアルノデアリマス、如何デス

○林政府委員 政府ニ於テハ、豫審ノ訊問ノ際ニハ斷然速記ヲ附ケナイ意見デアリマス

○永屋委員 ソレカラ二十五條ニ付デアリマスガ、二十五條ニ判事ヲ忌避スルコトノ規定ガアルノデアリマスガ、之ニ依リマスルト、檢事ト被告人ト、又ハ私訴當事者ガ之ヲ忌避スルコトヲ得ト云フ規定ガアッテ、辯護人ガ獨立シテ判事ノ忌避ヲ爲シ得ルヤ否ヤガ不明デアリマスガ、此點ハ如何デス

○林政府委員 辯護人ハ、被告人ノ爲シ得ル事ハ、代理權ト

シテ之ヲ行ヒ得ル原則ヲ認メテ居リマス、隨テ被告人ガ忌
避スルコトヲ得ルト云フ明文ガアレバ辯護人ハ矢張忌避ガ
出來ルコトニナリマス

○永屋委員 ソレカラ三十九條ニ辯護人ノ選任ニ關スル規
定ガアリマスガ、其ニ一項ニ列舉シテアル者ノ中ニ、妻ガ夫ノ
爲ニ辯護人ヲ選任スルコトノ規定ガ無イヤウニアリマスル
ガ、若シ是ガ此規定ノ文字通りニ讀ンデ解釋サレバ如何ク、
果シテ妻ニ辯護人ノ選任權ガ無イトスルト、甚ダ不權衡ニ
シテ、且又事ノ實際ニ於テ不都合ガアルト思ヒマスガ、政府
ノ御所見如何

○林政府委員 本案ニ於テハ、妻ノ辯護人選任權ハ認メテ
居リマス、法文通りデアリマスガ、別ニソレガ爲ニ不都合
ガ起ルト云フコトハ考ヘテ居リマス

○永屋委員 妻ヲ入レテハ不都合デアルト云フ理由ガアレ
バ、御説明ガ願ヒタイ

○林政府委員 入レタ方ガ適當デアルト云フ考デアリ
マス

○永屋委員 其入レヌ方ガ適當デアルト云フコトノ理由ヲ
承ル、何卒胸襟ヲ披イテ御答ヲ願ヒタイ

○林政府委員 婦人デアアルカラ云フテ、一概ニ輕ク視ル
趣意デアリマスセガ、併ナガラ重大ナ問題ハ婦人ガ一人
決スルト云フコトハ、往々間違ガ起ルト云フコトモ隨分
アリマス、辯護人ヲ選任セントスレバ、是ダケノ外ニ親
類ハ選任權ガアルノデアリマス、是等ノ人ニ相談シテ
モ出來ルコトデアリマス、又夫デアアル人ニ、相談スル機會
アルノデアリマスカラ、必シモ妻ノ選任權ヲ獨立ニ認メナ
イカラ、ソレガ爲ニ被告人ノ利益ヲ保護スル途ニ於テ、至ラ
ズ云フヤウナコトハアルマイト考ヘテ居リマス、ソレデ
入レナイ次第デアリマス

○永屋委員 妻ガ夫ニ相談スルコトモ出來ナイ、又他ニ相
談スル適當ノ人モ無イト云フ場合ノアルト云フコトハ、ソ
レハ稀デアリマセウケレドモ、豫想シナケレバナラス、人事
ノ複雑ナル、必ズサウ云フ場合ガアル、ソレデモ尙ホ妻ニ許
スコトガ其必要ナキカ否ヤ、ドウモ先刻カラノ御説明ニ依
テハ、妻ヲ除カネバナヌ理由、妻ヲ入レテハナラヌト云フ
理由ハ徹底的ニ諒解スルコトガ出來ヌノデアリマス、今一
應御説明ヲ願ヒタイ

○林政府委員 先程御答シタ以外ニ、別段ノ理由ハ無イ

○永屋委員 近頃私ノ聞ク所ニ依ルト、某裁判所ニ於テハ、
事件ノ檢舉取調ニ當ッテ、證據ヲ得ルニ甚ダ苦シタ結果デア
リマセウ、其事件ニ或ル關係ヲ持ッテ居ル、謂ハバ――其モ
ウ少シ具體的ニ申サゲマスレバ、辯護士ガ辯護士トシテ相
談ヲ受ケタ事件、或ハ其會社若クハ個人ノ顧問トナッテ居ル

所ノ辯護士、其者ヲ證人トシテ喚出シテ、サウシテ之ニ依
テ其事件ノ證據ヲ得ント努メタルノ事實ガアルヤニ聞イテ
居ル、ソレハ一方ニハ辯護士ハ其事件ニ付テ知リ得タ事ハ、
證言ヲ拒絕スル所ノ權利ヲ與ヘテアル、デアアルカラ拒絕ス
レバ宜シイノデアリマスガ、其拒絕シタコトニ因シテ、又一
ツノ吾々ノ攻究スベキ事柄ガ起ッテ居ルヤニ聞イテ居ル、ソ
コデ若シ辯護士ヲ斯ウ云フヤウナ傾テ以テ調べルト云フコ
トニナレバ、世間ノ人ハ辯護士ニ相談スルニハ、事實ヲ告
ゲナケレバナラス、併シ事實ヲ告ゲテ居ルト、之ガ證人トナ
テ、色々問題ヲ暴露サレル、若クハ秘密ヲ暴露セラル、ト云
フ事ニナレバ、辯護士頼ムニ足ラズ、辯護ノ事件ヲ委任スル
コトハ出來ナイ、秘密ヲ告ゲルコトハ出來ナイト云フ關係
ニナッテ、其機關ニ缺陷ヲ生ズルコト、私ハ思フ、ソコデ此
規定ニ設ケラレテ居ル、私ノ今言ウタコトニ關聯スル條文
ハ一通リ見マシタガ政府ニ於カレテハ此規定ノミヲ以テ、
今私ノ言ウタ如キ弊害ヲ除去シ得ルト云フコトノ、御確信
ガアルノデアリマス

○林政府委員 一寸今御質問ノ要點ガ捉ヘラレマセヌデシ
タガ、モウ一應……

○永屋委員 私人ノ申上ゲルノハ斯ウ云フ譯デ、近頃某裁判
所ニ於テ、辯護士ヲ證人ニシテ喚出シテ、辯護士ガ職務上知
リ得タ事柄ヲ、陳述セシメントシタカノ如キコトヲ聞イテ
居ルソレガ刑事訴訟法ノ規定ノ上ニ於テハ、辯護士ガ職務
上知リ得タ事柄ハ、證言拒絕ノ權利ヲ與ヘテ居ラル、ケレ
ドモ、是ノミニ於テハ、實際申上ゲタヤウナ場合ニ於ケル辯
護士ノ證言拒絕ノ權利ヲ利用シテ、證言ヲ拒ンデ行クト云
フコトガムツカシイ場合ガアルガ、此改正法案ニ從ッテ定メ
ラレテ居ル規定ハ、能ク今申上ゲタヤウナ事柄ヲ救ヒ得ル
ノ確信アルヤ否ヤ、斯ウ云フノデス

○林政府委員 證言拒絕ニ關スルコトニ付テハ、百八十七
條ニ其規定ガ設ケテアリマス、之ニ依ッテ十分デアラウト考
ヘテ居リマス

○永屋委員 昨日林政府委員ガ、案ノ二十九條ヲ御説明ニ
ナル場合ニ訴訟ヲ遅延セシムル目的ノミヲ以テ爲シタルコ
ト明白ナル忌避ノ中立ハ、決定ヲ以テ之ヲ却下スルコト
ガ出來ルト云フコトノ御説明ニ當ッテ、弊害ガ有ッテ之ヲ
矯メル規定ダト仰シヤウニ私ハ聽取リマシタガ、弊ト
云フモノガ實際ニ於テ有ルノナラバ私ハ此法案ヲ審議スル
ニ付テ考ガアリマスガ、併シ私ノ考フル所デハ刑事訴訟ニ
於テ、訴訟ヲ遅延セシムル目的ノミヲ以テ爲ス弊害ガ、現時
ノ法曹界ニ有ルトハ私ハ認メナイ、ソレデ若シ的確ニ其弊
有リト云フコトヲ、私共ヲシテ諒解セシメラレバ御説明ガ
アリマスレバ、本案ノ審議上頗ル都合ガ宜シイカラ御説明

ヲ願ヒタイ

○林政府委員 前同ノ説明ニ於テ、現時其弊ガ有ルカラ之
ヲ矯メルノデアルト云フコトハ私ハ申マセヌ、サウ云フ
弊ヲ矯メル趣意デアアル、現時有ルトモ無イトモ明言シナカ
タノデアリマス、古イ頃ニハ隨分有ッタト云フコトハ、是ハ
明言シテ憚ラヌノデアリマスガ、今日具體的ノ事件ニ付テ
サウ云フ弊ヲ認ムベキ事ガアツカドウカト云フコトハ、此
處デ申上ゲルコトハ出來マセヌ、併ナガラ斯ウ云フ事ガ將
來有レバ訴訟手續ノ進行ヲ阻礙スルコトガ明白デアリマス
カラ、サウ云フ場合ニハ決定ヲ以テ直ニ却下シテ宜シイ
ウ云フ規定ヲ置クノガ極テ適當デアルト考ヘマス

○永屋委員 弊ヲ矯メルト云フ以上ハ、弊ト云フモノガ有ッ
テソレヲ矯メルノデアアル、眞直ノモノガ歪ンデ居ルノヲ矯
メルノデアアル、歪ンダ状態デアアルカラ其弊ヲ矯メルト云フ
事ニナルノデアアル、私ノ向ヒマシタノハ之ニ基因スルノデ
アリマスガ只今林政府委員ノ御説明ハ、然ラバ元ト古イ時
ニハ有ッタガ、有ルカ無イカ知ラヌト仰シタルノカ、無イト
仰シタルノカソレヲ一ツ承リタイ

○山内政府委員 ドウモサウ云フ具體ノ事ニ付テ、此處デ
有ルトカ無イトカ言フノハ御互ニ面白クナイ事ト思ヒマス
カラシテ、先ツ有リ得ル事ダト云フ程度ニ於テ、實ハ御討議
ヲ願ヒタイノデス、誰ガ斯ウシタ、誰ガドウシタト云フコト
ハ、私ハ經驗ガアリマセヌカラ知リマセヌガ、サウ云フ事
中上ゲルコトハ、却テ面白クナイト考ヘテ居リマス

○永屋委員 私はハ斷然無イト思フ、所ガ其弊ヲ矯メル
ト仰シタルカラ、有ルト云フコトヲ前提トシナケレバ、弊ヲ
矯メルト云フコトハ言ハハスと思フ、弊ノ有無ト云フコト
ヲ頭ニ置イテ此案ヲ審議シナケレバナラスカラ、出來ルコ
トナラバ御説明ヲ望ムノデアリマスガ、併シ只今山内次官
ノ言ハレタ程度デ先ツ満足ト云フコトニ致シテ置キマス、
私ノ質問ハ是デ終リマス

○鶴澤委員長 禮君再度ノ通告デスガオヤリナリマスガ

○禮委員 簡單ニ――此人權尊重ノ事ニ矢張り關スル質問
デアリマスガ、條文ノ根據ハ百二十三條デアリマス、此百二
十三條ニ依リマス「左ノ場合ニ於テ急速ヲ要シ判事ノ勾
引狀ヲ求ムルコト能ハザルトキハ」トアル、此勾引狀ヲ求
ムルコトガ出來ナイト云フ場合ハ下ノ程度デ言ハレテアリ
マスガ、其點ヲ先ツ承ッテ置キタイ

○林政府委員 下ノ程度ト云フコトハ、一寸具體的ニ申上
ゲ惡イノデアリマスガ……

○禮委員 絕對ニ不能ト云フ意味デアリマスガ、又直ニ求
メルコトガ出來ナイト云フ意味デアリマスガ

○林政府委員 起訴ヲシテ判事ノ勾引狀ヲ出シテ實ッテ居

テハ、被告人ヲ拘束スル事ガ出来ナイヤウニ、ナル程急速ナ
事情ガ有ル場合デ、矢張此急速ト云フ事ニ此條文ハ重キヲ
置イテ居ルノデアリマス

○辯委員 其次ニハアリマス「檢事ハ勾引狀ヲ發シ又ハ之
ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ
得」司法警察官ハ自カラ勾引狀ヲ發スルコトガ出来ナイデ
檢事ニ依テ「ミ令狀ヲ發スルコトガ出来ルノデアリマス
カ、又命令ガナクテモ是等ノ事ガ出来マシタ時分ニ勾引狀
ヲ發ヘルコトガ出来ルノデアリマス、其點ヲ伺ヒマス

○林政府委員 其事ハ百二十三條第二ノ項ニアリマス續リ
デス、矢張司法警察官ガ是ダケノ條件ガアレバ勾引狀ヲ出
セル、斯ウ云フ次第ニナッテ居リマス

○辯委員 シテ見マスレバ結局前ノ命令シト云フコトハ、
結局意味ヲ成サヌヤウニ考ヘマスガ、其點ハ如何デスカ、其
前項ニ依リマスレバ命令ニ依ッテ初テ司法警察官ガ勾引狀
ヲ發スルコトガ出来ルヤウニ見エ、第二項ニ於テハ御説
明ノ如ク直ニ自分ノ職權ヲ以テ勾引狀ヲ發スルヤウニモ見
エ、相矛盾スルヤウナ感ガアリマスカラ此質問ヲ致ス次
第デアリマス

○林政府委員 第一項ノ場合ハ詰リ檢事ガ捜査ニ着手シテ
サウシテ斯ノ如キ事情ガ有ルト認メタ場合ニ自ラヤッテモ
宜イガ、實際ノ事情如何ニ依ッテ司法警察官ニ命令シテヤ
セル、斯ウ云フ様ニ考ヘマス、第二項ノ方ハサウデハナイ、
司法警察官ガ捜査ニ從事シテ居リマシテ、サウシテ急速ノ
處置ヲドウシテ執ラナケレバナラスト云フ斯ウ云フ場合ヲ
考ヘテ規定シクノデ、第一項第二項共ニ兩立シテ初テ實際
ノ要求ニ應ズルコトガ出来ルト考ヘテ居リマス

○辯委員 此各項ニ舉ゲテアリマス場合、殊ニ第六ノ場
合ニ付テハ非常ニ司法警察官又ハ檢事ニ對シテ過大ノ權力
ヲ與ヘテアルヤウニ考ヘテ居リマス、詰リ司法警察官ガ窃
盜ノ嫌疑ノ有ルモノヲ直ニ勾引スルコトガ出来ルト云フ事
ニナリマシテ、斯ル規定ヲ設ケテ置クト今日非常ニ非難ノ
アル人權蹂躪問題ト云フモノガ、更ニ益々起ル嫌疑アリハ
セヌカト思ヒマスガ、此點ニ付テハ寧ろ斯ウ云フヤウナ權
利ヲ與ヘズトモ、檢事ガ十分ニ捜査スルコトガ出来得ル
事柄ノヤウニ考ヘラレマス、是非此規定ヲシテ置カナケレ
バ檢事局ガ犯罪捜査ヲ爲スコトガ出来ナイ

○林政府委員 強盜又ハ窃盜ハ申スマデモナク、今日ノ
實際カラ考ヘマシテ、犯罪ノ中デ一番物騒ナ犯罪デス、良民
ノ方カラ見マスルト、是程不安心ノ事ハナイ、他ノ犯罪ハ大
概被害者ト犯罪者トノ間ニ何等カ縁故關係ガ有ッテ生ズル
ノデアリマスガ、強盜窃盜ハマルデ縁故ガ無い、被害者ノ方
面カラ見テモ誰ガヤッタト云フコトガ容易ニ分ラヌ、一面ニ

於テサウ云フ様ナ次第デアリマスカラ、良民保護ト云フ事
ニ相當ノ意ヲ用ナケレバナラヌ、一面ニ於テハ強盜窃盜
ハ所在ヲ晦マスト云フ事ガ通常ノ事情ニナッテ居リマス、外
ノ犯人デアリマスト一般ニ住居ヲ構ヘテ所在ガ分ッテ居ル
者ガ多イ、強盜窃盜ニナルトサウ云フコトガナイコトガ多イ、
斯ウ云フ場合ニ必要ヲ認メタトキニ勾引ガ出来ル事ニシマ
セスト、所在ヲ失テ之ヲ處罰スル目的ガ達セラレマセヌ、
サウシテ良民ノ不安ヲ益々増長スル、斯ウ云フコトニナリ
マスカラ、強盜、窃盜ニ付テハ特ニ此條文ニ加ヘマシタ次第
デアリマス

○横山(金)委員 簡單ニ御尋致シマス、其前ニ當ッテ私ハ
當屬ニ希望ガアルノデアリマス、先ヅ此案ノ實施ノ結果ヲ
要スベキ費用ノ高ヲ承リマシタ所ガ、唯單ニ數十萬圓ヲ要
スルデアラウト云フ御言葉ヲ得タノデアリマス、數十萬
圓ト云フコトハ讀ンデ字ノ如ク二十萬圓以上、三四十萬圓
マデ參リマス、私ノ聽カント欲シタ所ハ實際ニ於テ要スベ
キ費用ノ額ヲ承ツタノデアリマス、別ニ御答ニナルニ當ッテ
發言者ヲ侮辱ナサツタトモ私ハ考ヘナイ、又不深切ナリト
モ申シマセヌケレドモ、凡ソ一ツノ事業ヲ御企テニナレバ、
之ニ依ッテ費用ガ減ズルカ殖エルカ、減ズルニシテモ殖エル
ニシテモ、其數額ガ幾何ナリヤハ豫テ見込ガ立ッテ居ラナ
ケレバナラヌ事デアラウト、私ハ信ズルノデアリマス、此間
私ノ質問ガ劈頭先ヅ第一ニ致シマシタ發言デゴザイマシタ
デ、左様ナ言葉ヲ申上ゲルノハ如何カト考ヘマシテ差控ヘ
タノデアリマス、蓋シ其當時ニ於テハ恐ラクハ實際ニ茫漠
費用ノ總額ヲ御調ベニナッテ居ナカッタ爲ニ、斯様ナル茫漠
タル御答ガアツタコト、思ヒマス、此點ニ於テ確切ノ御答ヲ
得タイト同時ニ、斯ノ如キ御答ヲ得ルノハ隔靴搔痒ノ感ヲ
抱カシムル底ノ茫漠タル御答ハ、吾々ノ聽クヲ欲セザル所
デアリマス、分リマセヌカラ御尋ラヌノデアリマス、成ル
ヘク吾々ノ疑ヲ氷解セシムル底ノ態度マデニ其言葉ヲ進メ
ラレンコトヲ希望致シマス、サウシテ、私ノ御尋セント欲ス
ル所ハ、是マデ既ニ御尋ニナリマシタ訴訟記録ノ公開ノ
點デアリマス、被告人ハ辯護人ヲ通シマシテ訴訟記録ノ騰
寫ガ出来マス、閱覽モ出来ルトニナッテ居リマス、サウシ
テ其時期モ豫審中ニ辯護人ヲ許サレタ場合ニ於テハ、其程
度ニ於ケル訴訟記録ヲ閱覽ガ出来ル、公判以後ニ於テハ其
公判ニ附セラレタル全部ノ訴訟記録ヲ閱覽ガ出来ルノデア
リマス、此訴訟記録ニ付テノ規定ト致シマシテ、本案デハ五
十五條ニ「訴訟ニ關スル書類ハ公判開始前ニ於テハ之ヲ公
スルコトヲ得」トアル、此規定ガゴザイマスガ故ニ、公判
前ニ於テハ公ニザレヌノデアリマセウ、此「公ニスル事ヲ得
ス」ト云フ此文字ノ解釋ニ付テハ、前回ニ山内政府委員ヨリ

丁寧ニ御説明ガアツタ様ニ承ッテ居リマス、ソレハ成程訴訟關
係者ニ書類ヲ見セシムルト云フ事ハ、規定モアリ當リ前ノ話
デアルケレドモ、之ヲ新聞ナドニ掲ゲルト云フガ如キ事ハ
如何ニモ苦シイ事デアアル、秘密ノ公開ト云フ事ニ付テハ
縱シ訴訟關係者ニ書類ヲ示シテモ秘密タルハ失ハナイノデ
アル、之ヲ第三者ニ示スト云フニ至ッテ云々ト云フ御言葉ガ
アツタノデアリマス、承ル所ニ依リマスルト、豫算ノ分科會ニ
於テ網紀肅正問題ニ觸レマシテ、其調査ノ爲ニ訴訟記録ノ
御提供ヲ政府ニ要望致シマシタ所ガ、是ハナラスト云フコ
トデ御拒絕ニナツタト云フ事デアリマス、此刑事訴訟法ノ五
十五條ノ「公判開始前ニ於テ之ヲ公ニスルコトヲ得」ト云
フ條文ヲ讀ンデ見マス、公判開始後ニ於テハ無論之ヲ公
ニシテモ妨ガナイト云フ事ニ解釋ヲシテ差支ガナイヤウニ
思ハル、ノデアリマス、勿論辯護人ノ如キ、醫者ノ如キ職務
上自分ガ關係致シマシタ事柄デモ、ソレガ秘密ニ屬スル事
デゴザイマスレバ、本人ノ承諾ヲ得ルニアラザレバ之ヲ公
ニスル譯ニ參リマス、然ラザル場合ニ於テ辯護人ト云
ハズ、其他ノ人ガ其事件ノ書類ヲ手ニ致シマシタ場合、之
ヲ公ニスル事柄ハ今日デモ實際ニ行ハレテ居リ、何等ノ咎
メヲ受ケテ居ラス、此五十五條ノ「公ニスルコトヲ得」即
チ或ル時期ニ達シテ公ニスルコトヲ得ルト云フコトハ、山
内政府委員ノ御説明デゴザイマシタガ、唯此公判前ニ於テ
訴訟ノ進捗ヲ圖ル場合ニ、被告人ニ讀ミ聽カセル記録ノ閱
覽ニ供スル程度ニノミ解釋スルノデアリマス、其以外ニハ及
ハズノデアリマス云フヤウナ御趣旨デアツタ承リマシタガ、是
ハ全ク左様ニ承知致シテ宜イデアリマス、公訴任意主義ト
云フコトガ本案デ御認定ナリマシタ、是ハ必シモ非難スベ
キモノデナイ、其點ニ付テハ雙手ヲ舉ゲテ賛成スルノデア
リマスガ、其結果トシテ今日新聞ナドヲ見マスルト云フト、
譬ヘテ見マスレバ東京市ノ疑獄事件ニ於テ、或ル代議士
ガ或ル大官ノ所ニ行ッテ御話ニナツタト云フ事ヲ、徒ニ探消
運動ヲ致シテ非常ニ排撃セラレマシタコトガ分ッタノデ
アリマス、併シ吾々ノ立場カラ見マス、決シテハ私ハ其
ノ趣旨ガ善良デアツタナラバ、忌ムベキ事柄デナイト考ヘル
ノデアリマス、何トナレバ從來ニ於テモ此規定ナシト雖モ
刑事政策ト云フ事ガ無境ニ行ハレテ、サウシテ起訴猶豫ト云
フモノガ其政策ノ見地ヨリ實際ニ於テ澤山ゴザイマス、ト云
フト、是ハ決シテ非難スベキ事柄デゴザイマセヌ、隨テ正面
ヨリ當該檢事ニ御目ニ掛ッテ、實ハ本案ニハ斯クノ「斯様ナル
特殊ノ事情ガ纏綿致シテ居ルノデアルト致シテ、陳情ヲスル
コトハ何等ハ妨ガナイ事デアアルト吾々ハ考ヘテ居ル、實
際ニモ左様ニ行ヒ來ツタノデアリマス、況ヤ今同此刑事訴訟

法ノ條文ノ上ニ、其任意主義ヲ表現シテ居リマシタ以上ハ、將來ニ於テモ私ハ斯クノ如キ事柄ハ獎勵ト言フハ言葉ニ弊ガアルカモ知レマセガ併ナガラソレガ果シテ新聞紙ノ攻撃スル如キ抹消運動ナリトシテ、唾棄スベキ行爲デゴザイマスナラバ、苟モ辯護人トシテ、辯護士ガ之ニ干與シテ居ル場合デモ、刑事訴訟法其モハ咎メマセヌケレドモ、新聞ノ筆法ノ如ク抹消運動ト云フコトニナレバ、少クトモ其辯護士ト云フモノ、品位威徳ヲ傷ケル事項ニナルト論斷シナケレバナラス事ニナルノデハ寧ロ司法處分ノ一ノ監督デアリマス、刑事訴訟法ノ範圍デハゴザイマセヌガ、控訴院法並ニ辯護士法ト云フモノハ正々堂々表門ヨリ檢事ニ迫テ起訴ニ付テノ措置宜シキヲ要スルコト云フ意味ニ於テ、何等差支ナイコト、考ヘテ居リマスガ、其點ニ付テ御所見如何、ソレカラ其次ニハ此聽取書其他ノ所謂搜查書類ト致シテ、警察官並ニ檢事ノ御作リニナル書面、此點ニ付テハ、從來屢々衆議院ニモ、檢事トカ警察官ノ手ニ依テ成リタルモノハ法律上有效ナル力ヲ與フベキモノニアラズト云フ獨立ナル法廷ガ出マシテ、當院ハ通過致シタコトガアルヤウニ記憶致シテ居ルノデゴザイマス、本案ヲ見マシテモ、檢事司法警察官ト云フ者ハ、古イ言葉デ言ヘバ、進現行犯ノ場合ニ限テ被告人ヲ調べ、其他證人ヲ調べ、又機宜ノ措置ノ出來ルヤウニナッテ居ルヤウニ觀ハレハレノデゴザイマシテ、此來ルヤウニ單純ニ其以外ノ場合ニ於テ搜查處分ト致シテ作ラレタル所ノ、尤モ二百五十五條ナド、云フ規定ノアルモノハ是ハ別デゴザイマス、ソレカラソレニハ或ハ訴訟關係者ヨリシテ出シタ始末書トカ、色々ノ名儀ノ下ニ檢事ノ作ラレタル書面、若クハ巡査ノ調査復命書ト云フヤウナ特別ノ書面、斯ウ云フ書類ト云フモノハ實際ニ於テ如何ニ扱ハシメル趣旨ニナッテ居リマス、之ヲ御尋シマスノハ、現ニ御說明ノ中ニモゴザイマシタ、又此刑事訴訟法ノ規定ノ中ニモ、第三百四十五條ノ如キ規定ガアルノデゴザイマス、ソレ等トノ關係ガ如何ナルモノデゴザイマス、只今私ノ舉ゲマシタ如キ書類ハ、是ハ更ニ三百四十二條ト云フモノヲ讀ミマス、其第一項ナドニモ特別ノ規定ガアル様デゴザイマス、是等ノ點カラ見マシテモ、只今申ノマシタル如キ書類ハ證據トシテハ御採用ニナリマセストモ、矢張記錄ノ中ニ御參考トシテ御綴リニナル御考デアリマス、之ヲ綴ルトカ綴ラヌトカ云フコトニ付テモ、是ハ綴ルベキモノデナイ、當然記錄ヨリ分離スベキモノデアルト云フ議論ガ唱ヘラレタコトヲ記憶シテ居リマスガ、是ハドウ御扱ヒニナリマス、ソレハ今朝デシタカ、昨日デシタカ、高見氏ヨリ辯護士ノ要求ニ依ッテ公判ニ於テ作

ラレタル速記録ト云フモノ、措置ニ付テ御尋シマシタト併セテ參考ノ爲ニ承テ置キタイト思フ、ソレカラ其次ニハ私訴ヲ刑事訴訟法ヨリ切離スコトガ出來ヌト云フコトハ、先刻永屋氏ノ質問ニ對シテ御答ニナッタデアリマス、確力軍法會議法デアリマシタカ、昨年討論セラレマシタ際ニ、海軍治罪法、陸軍治罪法ノ中ニ私訴ノ規定ガアッタニ拘ラズ、殆ド削除セラレテ僅ニ一片鱗ガ殘テ居タヤウニ覺エテ居ルノデアリマス、ソレカラ刑事訴訟ノ改正法ノ大正五年ノコトト思ヒマスガ、其意見ナドヲ見マシテモ、各地カラ提出致シマシタ意見書ノ上ニハ、私訴ハ寧ロ刑事訴訟法ノ上カラ御省キニナル方ガ宜カラウト云フ意見モ見受ケタヤウデアリマス、又實際ノ上ニ於テ此私權ノ保護ト云フモノガ、祕事訴訟ト云フ此モノノ審理ヲ終ヘラレタ端ニ附ケラレテハ、實際ニ於テ其權利擁護ノ實ノ舉ル得ナイ嫌ヒガアリハシナイカ、何トナレバ其證據ヲ舉グル上ニ於テモ、寧ロ刑事訴訟ト云フモノニ拘束セラレテ、自由任意ノ公平ナル、裁判ガ下シ得ラレナイヤウナ嫌ヒガアリハスリマス、同時ニ若シ此私訴ト云フモノヲ刑事訴訟法ノ上カラ取除クコトガ出來ヌト云フコトニナリマスレバ、私訴ト云フモノノ審理ヲ爲サル上ニ於テ、矢張刑事訴訟法ト離レテ、刑事ノ訴訟ト相併行シテ、少クモ調和致シテ判斷ノ出來ルヤウナ規定ガ、少シ緻密ニ置カレナケレバナラスト思フ、例ヘバ私訴ハ許シテ置イテ或程度ニ於テ民事部ニ送ッテシマフ、分レタ時分ニハ仕方ガアリマセヌ、單純ナル不法行爲ノ原則ヲ以テ支配ヲシ、同時ニ民事裁判所ヲシテ、此私訴ヲ判斷セシムルト云フ觀念ガ一部ニハ現レテ居リマシタ、ケレドモ一方デハ刑事ノ方ニ取ラレテシマフ、是ハドウモ規定其モノトシテハ宜シキヲ得テ居ラヌト云フ感ジヲ持ッテ居リマス、此點ニ付テドウ云フ御考デアリマス、ソレカラ又私訴ヲ刑事ノ公訴ト離スコトガ出來ヌト云フコトニナリマスナラバ、時効ノ點ハ一體ドウナルノデアリマス、今度ノ法案デハ私訴ノ時効ハ公訴ト連命ヲ共ニシナイヤウニナッテ居リマス、從來ノ刑事訴訟法ニ於テハ公訴ト連命ヲ共ニセシメテアリマス、而シテ此公訴ト連命ヲ共ニセシメテアッタト云フコトニ付テハ、時効中斷ト云フモノ、上ニ其働キガ自カラ現ハレテ參ルノデアリマス、如何ニ被害者ガ私訴ヲ提起致シテ居リマシテモ、公訴ノ方面ニ於テ公訴ノ時効ノ中斷ヲシテ居ラナイト云フコト、自然私訴ノ連命ガ無クナッテシマフト云フヤウナ事ニモナルヤウニ思ハレマス、此點ニ付テモドウモ調和ト云フモノガ十分ニ取レテ居ラヌカノ如キ感ジガアルノデアリマス、是モ序ニ承テ置キマス、ソレカラ又併セテ承テ置キタイノハ、此訓令規定ト云ヒマス

ルカ、即チ先刻來他ノ人々ニ依ッテ大分質問ヲサレマシテ、之ニ對シテ御答ニナッテ居リマス、第一番ニ九十二條デアリマス、九十二條ノ「被告人ヲ勾留シタル場合ニ於テハ其身體及名譽ヲ保全スルコトニ注意スヘシ」ト云フノガアリマス、ソレカラ百四十四條ニ至リマシテ「搜索ニ付テハ祕密ヲ保持且搜索ヲ受クル者ノ名譽ヲ毀損セサルコトニ注意スヘシ」ト云フカラ二百七十九條ニ至リマシテ「犯罪ニ關シ匿名ノ申告又ハ風説アル場合ニ於テハ特ニ其ノ出所ニ注意シ虛實ヲ探査スヘシ」是ハ勿論此規定其者ヲ非難スルノデハゴザイマセヌ、案ノ趣意ヲ條文ノ上ニ現ハシテ、徹底的ニ此趣旨ヲ貫徹セラレルト云フ事柄ハ惡イ事デハゴザイマス、マイガ、若シ果シテ是ガ必要デアルト云フ事ニナリマスルト云ト、此舊刑事訴訟法ノ規定ナドニモ九十四條ニ特ニ或規定ガ設ケラレテアッタヤウニ記憶シテ居ルノデアリマス、九十四條ハ即チ「被告人ヲシテ其ノ罪ヲ自白セシムル爲メ恐嚇又ハ詐言ヲ用ユ可カラズ」是ハ今度ノ規定ナドヲ見マス、併シソレハ反面カラ其趣意ガ決メタルノデアッテ、權利ド云フモ義務ト云フモノ何等妨ガナイト仰ンヤレバソレ迄デアリマス、此九十四條ノ如キ事柄モ山内政府委員ノ言葉ヲ藉リテ考ヘマス、アッタハ申サレマセヌガ、アリ得ル事柄ニ相違ナイノデアリマス、寧ロ適切ニ致シテ分リ宜イ九十四條ナドヲ御削リニナリマシタト云フノハ、何處ニ其御趣旨ガアルノデゴザイマス、ソレカラ其次ニハ是ハ前ニ一部分ヲ御尋ニナリマシテ既ニ御答ニナッタ事項デアリマス、舊刑事訴訟法ノ十三條「告發人ノ責任ヲ問フテアル條文デアリマス、或ハ此度ハサウ云フ不法行爲ト云フモノハ、總テ民法ノ不法行爲ノ規定ニ讓ッテアルト仰ンヤレバソレ迄デアリマスルケレドモ、凡ソ此刑事ノ告訴ヲ致シマスルカ告發ヲ致スト云フ場合ニ於キマシテハ、無論誠意ヲ以テ告發ハ致スノデアリマス、致シタ結果隨分檢事ノ手ヲ潜リ、豫審ノ手ヲ潜リ、公判ノ手ヲ潜ッテ、二審三審マデモ至ッテ、初テ無罪ニナルト云フヤウナ事案ガ世ノ中ニハ往々アルノデアリマス、過失ノ有無ヲ探リマス、ソレノモ、隨分實際ニ於テハ至難ナ事デアルト思ヒマス、矢張私ハ此現行刑事訴訟法ノ十三條ノ如キモノハ、極テ必要適切ナル規定デアリナイカト思フノデアリマス、同ジ訓示規定ヲ御置キニナル、尤モ訓示規定ト云フヨリモ、是ハ人ノ權利ノ分量、權利ノ狀態ト云フモノヲ定メル事ニナリマス、ケレドモ矢張斯ウ云フ規定ハ御存置ニナリマシタ方ガ宜シイデハナイカト云フ感ジモアリマス、之ヲ御削リニナリマシタ趣意、併セテ其次條ノ十四條デス、是ハ確力作問委員ヨリ御尋ニナリマシテ、御答ニナッテ居リマス、是ハ其裁

判官が裁判ヲ言渡シテ結果ト致シテノ責任デゴザイマス、是等ノ如キハ既ニ調査考慮中デアルト云フ御答ニナツタノデアリマス、是トモデモ、成程調査考慮ナスデ、ヨリ良キ御規定ヲ爲サルト云フ事柄ハ、國民ノ聲ヲ御容レニナル意味ニ於テモ惡イ事デハゴザイマセヌ、ケレドモ、凡ソ事件ノ御ニ當テ判斷ヲ致スト云フ人ニ、特ニ故意ヲ以テ云々ト云フコトハ實際ニ於テ稀デゴザイマセウ、併シ刑法ニハ其規定モ置カレテハアリマスケレドモ、現實ノ上カラ考ヘマスルト、矢張此十四條ノ規定ノ如キ、惡イ所ガアルト致シマシテモ、僅ニ何等カノ補正ヲ爲サレバ矢張刑事訴訟法ノ上ニ御留メニナツテ然ルベキデハナイカト思ヒマス、之ヲ特ニ刑事訴訟法ノ上ニ御留メニナリマシタト云フノハ、調査考慮中デアルト云フ事カラ見ルト、マダ立派ナソレ以上ノ法案ヲ出ス積リデアルト云フ事ニ承知モ出來サウデアリマス、斷然御留メニナツタト云フコトニ付テハ、現行刑事訴訟法ニ是ダケノ缺點弊所ガ潜シ居ルカラ、是ハ外シテ單行法トシテ出サスケレバナラヌト云フ位ノ御意見ガ、既ニ定テ居ルト思ヒマス、此點モ併セテ承リタイ、現ニ大審院ナドノ判例ニ於キマシテモ、行政官ガ或ル失態ノゴザイマシタ時分ニハ、行政裁判法若クハ訴訟法ト云フモノデ以テ、矯正ノ道モゴザイマスモノハ兎ニモ角ニモ、然ラザルモノハ總テ泣寝入ニナツテ居ル、之ヲ地方裁判所ニ持テ行クト云フト規定ガナイ、ドウモ行政官ノ職務上シタ事ニ付テハ、何等規定ガナイノデアルカラ致シテ、誤ラ正スコトガ出來ナイ、譬ヘテ見マスレバ其損害ノ賠償ナラ賠償ヲ持テ行キマス、行政官ノ爲シタ行爲ノ善惡ヲ判斷スルコトガ司法裁判所デハ出來ヌノデアル、ソレデアルカラ惡イ事ガアルニシテモ、善シ惡シヲ判斷スルコトガ出來ナイカラ、其一步先ノ損害ノ賠償ニハ達セヌノデアルト云フヤウナ判例ヲ見受ケテ居ル、今日ニ於テ行政方面ニ於テハ、ドウ云フ御考ヲ持テ居ルカ知リマセヌガ、苟クモ私權ノ擁護ヲ徹底ニスルト云フコトニナレバ、是等ノ點ニ付テモ何等カノ改善ヲ要スベキモノガアリ、併セテ現行刑事訴訟法ノ十四條ナドニ付キマシテモ、御考慮ガアルベキ筈デアリ、其御意見ガ略ニ定テ居ランケレバナラヌ時期デアルト考ヘマスガ故ニ、是ダケヲ御尋シテ置キマス

○山内府委員 第一點ノ豫算ノ事デアリマスガ、私ハ隨カ曖昧ナコトヲ申上ゲテ居リマス、六七十萬圓ト言ヒマシタガ、是ハ只今會計課ニ於テ追加豫算ニ付テハ計上中デアリマス、計算ヲ致シテ居ルノデアリマス、マダハハキリ事實極リマセヌガ、是ハ不日追加豫算トシテ議會ニ出ルカ出ナイカ、大藏省ノ方ニ廻スコトニ致シテ居ル、今日モ會計課長ニ聽キマス、モウ直グニ計算ガ出來ルト云フコト

ヲ言テ居ルマス、其數ハ暫ク御猶餘ヲ願ヒタイ、ソレカラ書類ノ公開問題ニ付テノ此案ノ趣旨、ソレハ私ガ此前ニ大體申上ゲタノデアリマスガ、公ニスルコトヲ得ル、得スト云フ意味ハ、矢張是ハ何人ニデモ書類ヲ見セル趣旨デハナイト解シテ居リマス、ソレカラ採消運動ト云フ一點、採消運動云フノハ文字ノ使方ガ甚ダ惡クナツテ居リマス、今日ハ惡イ意味ニ使テ居リマスガ、惡イ意味ノ採消運動ハイケマセヌガ、併ナガラ任意主義ヲ執ツ結果、之ヲ處罰スルト云フコトハ任意主義、即チ或ハ常識ト言ヒマス、或ハ極端ニ言ヘバ却テ世ノ中ニ害ガアルト云フヤウナモノヲ起訴シテ吳レルナト云フコトニ付テノ運動ヲ止メルト云フ考ハ、勿論持チマセヌ、辯護人ト云フ言葉ヲ御使デアリマスガ、起訴以前ニハ辯護人ト云フモノハアリマセヌカラ、ソレハ辯護士ノ諸君ガ誰カカラ色々頼マレデドウモアレヤツテハイカスラザル限リハ、私ハ非難致サナイ積リデアリマス、ソレカラ聴取書ノ證據力、是ハ證據力ハナイト於テ事ニ原則トシテナツテ居ルノデアリマス、アノ條文ニハ人ノ供述ヲ記載シタルト云フ文字ニナツテ居リマス、即チ供述ヲ記載シタルモノハ法令ニ依リ訊問調書デナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマス、ソレ以外ニ前科調べ、或ハ素行調べト云フヤウナモノガ加ハルコトガアリ、是ハ供述調書デナイ書類ニ付テ調ベルコトガアリ、警察官ノ報告ニ依ツテヤルト云フヤウナコトモアル、其事ハ例ノ所謂聴取書ノヤウナモノデナイノデアリマシテ、供述書ヲ錄取スルコトニ付テハ、今日マデ問題ニナツテ居リマスガ、聴取書ハ效力ガナイト云フ意味デアリマス、私ノハ簡單ニ綱領ダケ言テ、後ハ刑事局長ニ頼ムコトト致シマス、私訴ノコトハ要スルニ刑事局長ノ御話致シマシタ如ク、公訴ニ附帶スルノガ便宜デアアル、更ニ民事訴訟ヲ起シ費用ヲ要スル、却テ調査ノ結果ガ其事實ニ合ハヌヤウナ嫌ヒガ時トシテナイデハナイノデアリマス、要スルニ便宜ノ爲ニ私訴ヲ公訴ニ附帶スルト云フコトハ今日ト雖モ尚ホ必要ガアル、併ナガラ事ガ複雑ニナツテ刑事裁判所デハ却テ宜シクナイト云フヤウナ場合ニハ、民事裁判所ニ送ルト云フコトモ是モ適當ナル規定ト考ヘテ居リマス、ソレカラ此訓令規定ハ歡迎ヲ受ケマシテ、甚ダ満足デアリマスガ、而シテ脅嚇詐言ヲ用フルコトヲ得スト云フヤウナ大ソレタ方面ハ、モット廣ク即チ深切丁寧ナルベシト書イタル以上ハ、脅嚇詐言ヲ用フル者ノ深切ナラザル事、丁寧ナルザルコトハ言フヲ俟タヌ事デアアル、自ラサウ云フ事ハ出來ナイ、ソレカラ私訴ノ事項ハ今度ノ案デハ或ハ私ノ言ツタ事ガ間違テ居ラバ、刑事局長ガ直シマスガ、所謂、訴訟ニ付テノ事項ト云フコトヨリハ即チ民事ノ

請求權ノ事項トシテ之ヲ取扱フコトハ民法ノ規定ニ依ルノ適當トスルト云フ趣旨デアリマス、ソレカラ告發人等ノ賠償、此分ハ是ガ削ラレテ居ル結果、解釋スルニハ矢張民法ノ規定ニ依ツテ不法行為ナルヤ否ヤニ付テ判斷スベキモノト解釋スルノデアリマス、而シテ刑事事件ノ規定ハ現行法デハ故意ヲ以テ云々ト云フコトニナツテ居リマスガ、若シ判事ガ故意ヲ以テ罪人デナイニ拘ラズ、死刑ノ宣告ヲ爲シタ、死シテシマッタト云フトキニハ、不法行為タルコトハ當然デアラウト思ヒマス、サウ云フ次第デアリマスニハ、大體ノ御質問ノ趣旨ニ付テ私ハ横山君ノ頭ノ中ニ殘テ居ルト私ノ認メマスル意見ニハ賛成ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス、詳細ナ事ガ御入用デゴザイマスナラバ刑事局長ヨリ申上ゲマス

○作間委員 委員長時間モ丁度四時デアリマスガ豫算ノ本會モアルコトデアリマスカラ……

○鶴澤委員 一寸……

○横山(金)委員 只今最後ノ御答デゴザイマスガ、勿論故意ヲ以テ損害ヲ加ヘマスニ付テハアリマスガ、此點ニ付テハ前回ニ作間君ヨリ御問ニ對シテ是ハ勿論ソレニハ過失ト云フモノガ加ツテ居リマスガ、之ニ付テハ考慮研究中デアルト云フ御答ガアツタノデアリマス、サウスルト只今ノ御答ト致シマスレバ、結局普通ノ不法行為ノ規定ニ依ツテ法律スル事ガ出來ヌカラ削ツノデル、斯ウ云フ意味ニ承ルコトニ致シマセウ、ソレカラ尙ホ序デゴザイマスカラ此際モウ一ツ承テ置キタイノデアリマスソレハドウ云フ事カト申シマス、又新聞ヲ引出シテ御氣ニ召サヌカ知リマセヌガ、新聞ノ上ニ是ハドノ調書ヲ引カレタカ知リマセヌガ、前檢事總長ニ對シテ何カ新聞社ガ尋ネフシタ事ガアル、而シテ其尋ネタ事柄ハ檢事總長ノ言葉トシテハ、或證人ニ對シテ其會社ノ關係ノ人ニ面會ヲスル事ハ遠慮シタラ宜カラウ、斯ウ云フ事ヲ言ハレタ、ソレガ爲メニソレヲ尋ネタラバ非常ニ總長ガ顔ノ色ヲ變ヘラレタト云フ事ガアツタ、吾々カラ見ルト是ハ何デモナイ事ノ様ニ思フ、苟クモ事實ノ真相ヲ發揮セントスル場合ニ於テ、其證人ヲシテ他ノ人ト接觸セシムルト云フ事柄ハ成ベク避ケタ方ガ宜カラウ、是ハ一體吾々辯護士トシテモ實ハ心得テ置カナケレバナラヌ事デアリマス、即チ辯護士ノ方面カラ申請ヲ致シテ證人ニシタ所デ、成ベク人ノ信憑力アラシムル爲メニ嫌疑ヲ避クル意味ニ於テ他ノ人ニ接觸スルヲ避ケテ裁判所ガ喚出シタ日ニ直ニ出テ供述スル方ガ宜カラウト云フコトヲ辯護士ガ自分ノ喚出シタ證人ニ對シテ注意ヲシタ、斯ウ云フ場合ニハ刑事訴訟並ニ構成法併セテ辯護士法ト云フモノ、範圍ニ於テ辯護士ノ其態度ハ品位ヲ傷ケルモノデアルトカ、名譽ヲ傷ケル

モノデアルト云フ結果ガ生レルト云イ御考ヲ持ッテ居リマセウカ、之ヲ併セテ此際伺ッテ置キタイ

○山田政府委員 一寸損害賠償ノ事ニ付テ私ガ此前申シタノハ、或ハ私ノ言ヒ方ガ足ラス爲ニ誤解ニナッテ居ルノデナイカ知ラスト思ヒマス、私ガ調査中デアルト云フコトヲ申シタノハ、國家賠償責任デアリマス、即チ或ル行爲ヲ爲シタ其人ノ賠償責任デナクシテ、官吏ガ不法ナラスモ或ル行爲ヲシタ、其場合ニ國家ヲシテ直接賠償ノ責任ヲ負ハシメルヤ否ヤト云フコトガ、私ハ作問君ノ御尋ト考ヘテ、又ソレガ今日重大ナル問題トシテ吾々ハ調査シテ居ルノデアリマスカラ問題ガ全ク違フト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイノアリマスソレカラ檢事總長云々ノ事ニ付テハ假ニ檢事總長ガア、云フコトヲ言ッテ若シ其證人ト被告トガ口ヲ合セルト云フ事ニナッテハ却テ面白クナイ、却テデハナイ實ニ面白クナイト云フヤウナコトデ、注意スルト云フコトハ一向差支ナイト私ハ考ヘテ居ル、併ナガラ其事實ハ檢事總長ガ言ッタノデアリマス、只今東京地方裁判所ノ檢事正ハ洋行致シテ居リマス、檢事長ガ地方裁判所ノ檢事正ノ事務ヲ攝行シテ居ルノデアリマス、檢事正トシテサウ云フコトヲ警規總監ニ注意シタコトガアルノデアリマス、事實ハサウデス、ソレデ決シテ差支アルトハ思ヒマセスガ、事實ガ違ッテ居ルカラ其點ハ特ニ言明シタ而シテアノ書方ト云フモノガ、讀ミ様ニ依ッテハ非常ニ何方檢事總長ガ不埒ナ事ヲシタカノ如キ語氣ガアル、決シテサウ云フ關係ハ全ク無イト云フ事實ト、ソレカラ又捜査關係上之ヲ注意スルト云フ事ハ差支ナイト云フコトヲ私ハ言明致シ置イタノデアリマス、而シテ是ガ辯護士ノ方デ其事ヲシクラバドウダト云フ、私ハ檢事總長ガエラクテ辯護士ガエラクナイト云フコトハ決シテ考ヘテ居ナイ、證據滅ナラザル限りハ、所謂新聞ノ言ヘル如キ若シ不埒ナ事デ無イ限りハ何人ト雖モ同ジ權利ガ有ルト云フコトヲ私ハ茲ニ斷言シマス

○鶴澤委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後四時十四分散會

大正十一年二月十七日印刷

大正十一年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局